

# 鉄丸 2 操作手順書

株式会社シグマテック

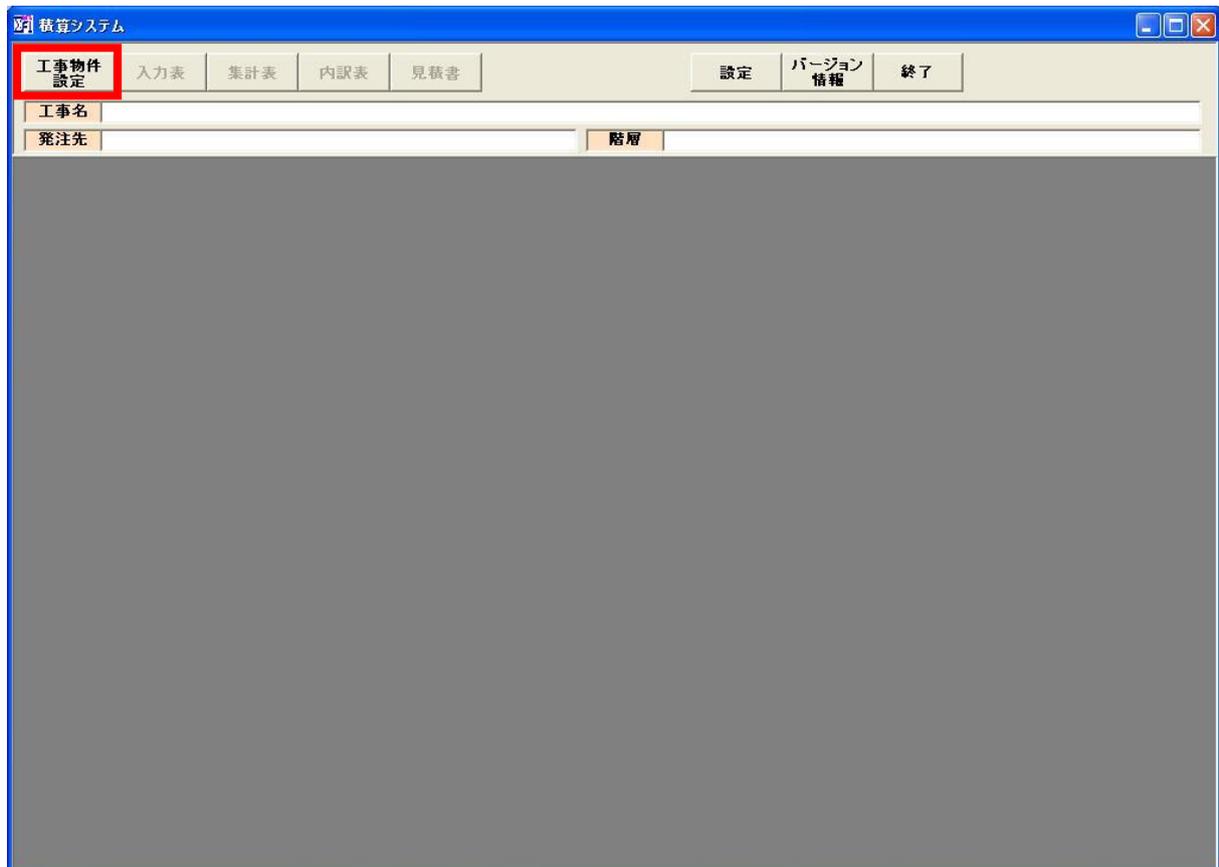
2012 年 10 月 24 日

# 1. 工事物件設定

工事物件を設定します。

## 1.1 工事物件設定

工事物件設定ボタンをクリックして下さい。



## 1.2 物件名を設定

物件 No を選択後に、「工事名」と「見積先」入力して下さい。



工事No	工事名	発注先	日付
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			

※工事名は、50 文字以内で入力して下さい。

※見積先は、30 文字以内で入力して下さい。

※年月日は、自動的に入力されます。

※**最大で 800 物件**保存する事ができます。

※物件の削除をしたい時は、「工事削除」ボタンをクリックして下さい。

※**物件の保存**は、バックアップ対象の物件を選択してから「物件保存」ボタンをクリックして下さい。

※**物件の復帰**は、空いている物件 No を選択してから「物件復帰」ボタンをクリックして下さい。

「工事名」と「見積先」が決まったら、「OK」ボタンをクリックして下さい。**入力表に移動**します。

## 2. データ入力表

新規にデータを作成します。

### 2.1.1 階層の新規作成

最初は、必ず「**鉄骨本体工事**」が作成されます。

階層	データ数
1 鉄骨本体工事	

No.	階層名
1	鉄骨本体工事

※新たに階層を作る場合は、「階層入力」ボタンをクリックして階層を入力して下さい。

※「データ入力」ボタンをクリックすると、選択している階層のデータ入力画面に移動します。

(選択している階層で、「Enter」や「ダブルクリック」でもデータ入力画面に移動します)

※階層は、**最大で 100 階層**作る事ができます。

## 2.2.1 階層取込み

他物件の階層データを取込む事ができます。

	階層	データ数
1	鉄骨本体工事	
2	現場建方工事	
3	付帯工事	
4	胴縁工事	
5	母屋工事	

No.	階層名
5	母屋工事

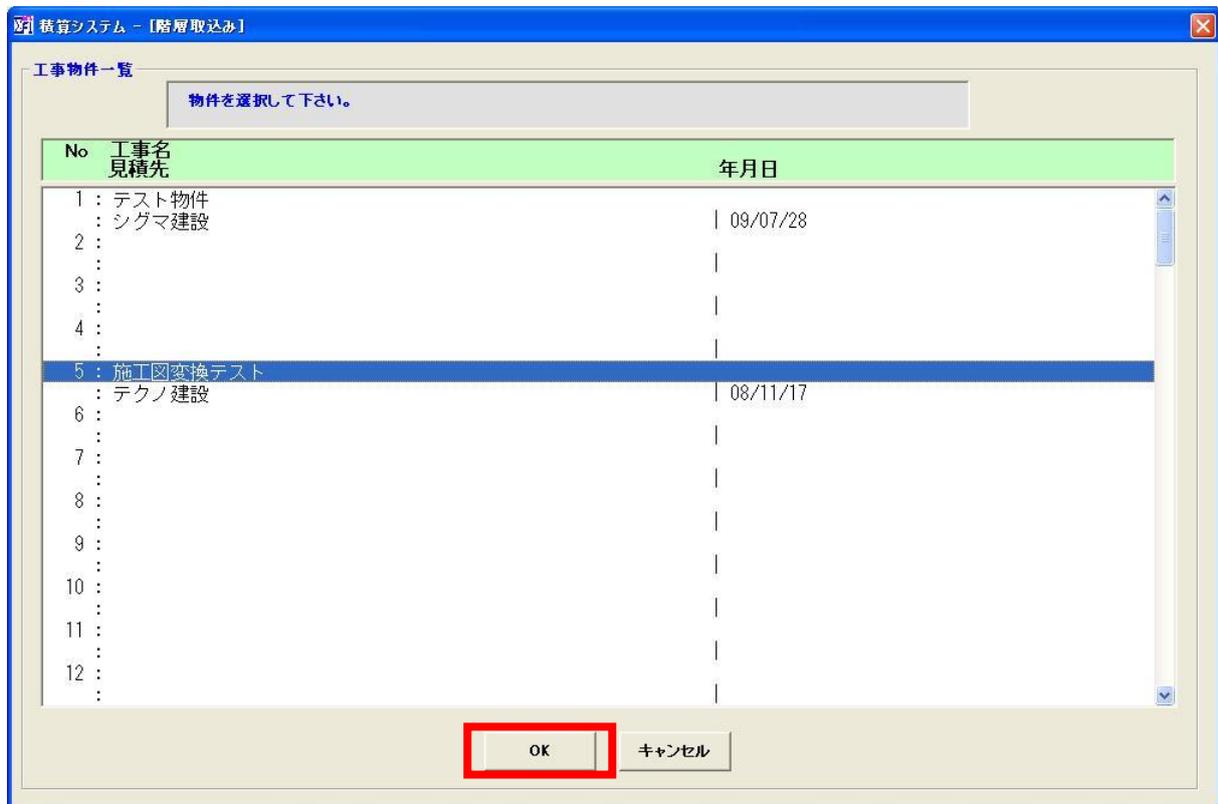
※取り込み先の階層を選択してから、「階層取り込み」ボタンをクリックします。

（今回は、他物件の母屋工事を取り込みます）

※取込み先の階層にすでに、データがある場合は、データを上書きします。

## 2.2.2 取り込みたい物件を選択

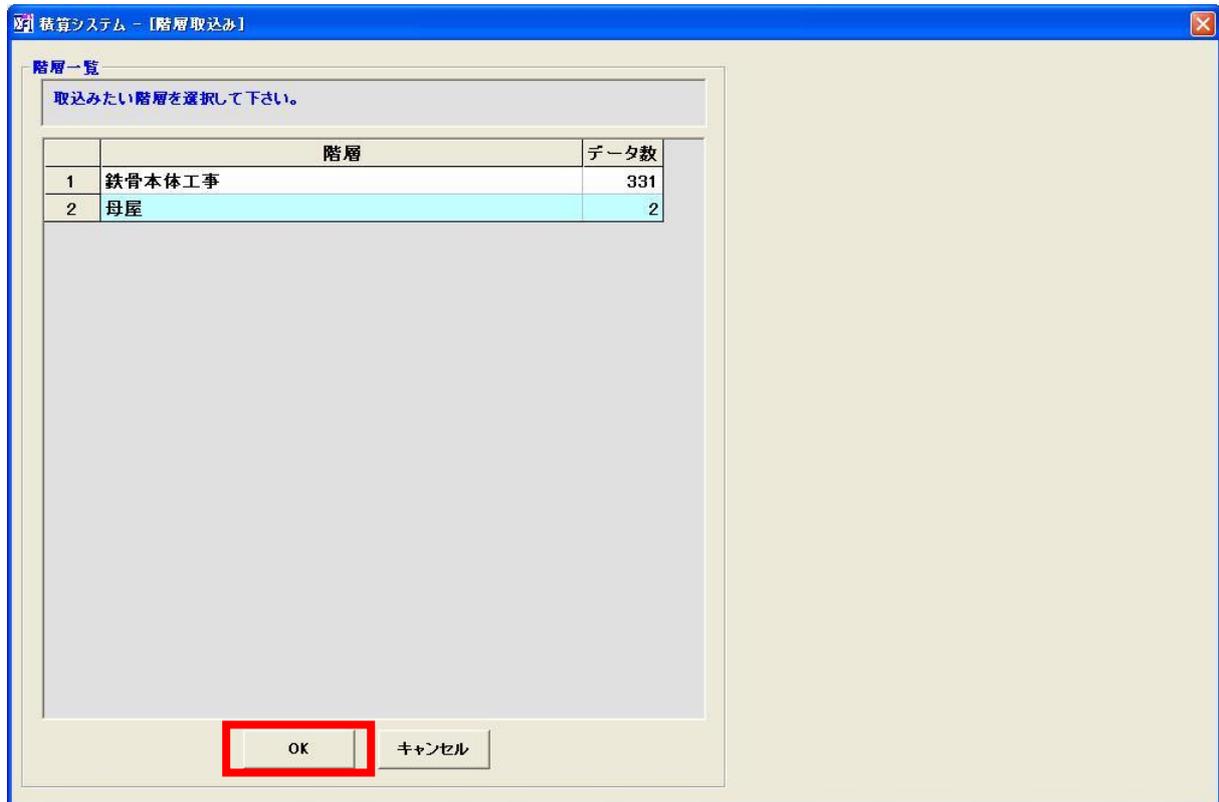
取込みしたい階層がある物件を選択して下さい。



※物件を選択したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。

## 2.2.3 取込みたい階層を選択

取込みたい階層を選択して下さい。



※物件を選択したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。

## 2.2.4 階層データの取込み完了

選択した階層データの取込みが完了しました。

	階層	データ数
1	鉄骨本体工事	
2	現場建方工事費	
3	付帯工事	
4	図録工事	
5	母屋工事	2

No.	階層名
5	母屋工事

※取込み先のデータ数が、選択した階層のデータ数と一致するか確認して下さい。

### 2.3.1 データ入力

選択している階層にデータを入力します。

試算システム - [入力表-階層選択]

工事物件設定 入力表 集計表 内訳表 見積書 設定 終了

工事名 テスト物件

発注先 シグマ建設 階層

	階層	データ数
1	鉄骨本体工事	
2	現場建方工事費	
3	付帯工事	
4	胴縁工事	
5	母屋工事	2

階層データ

No.	階層名
1	鉄骨本体工事

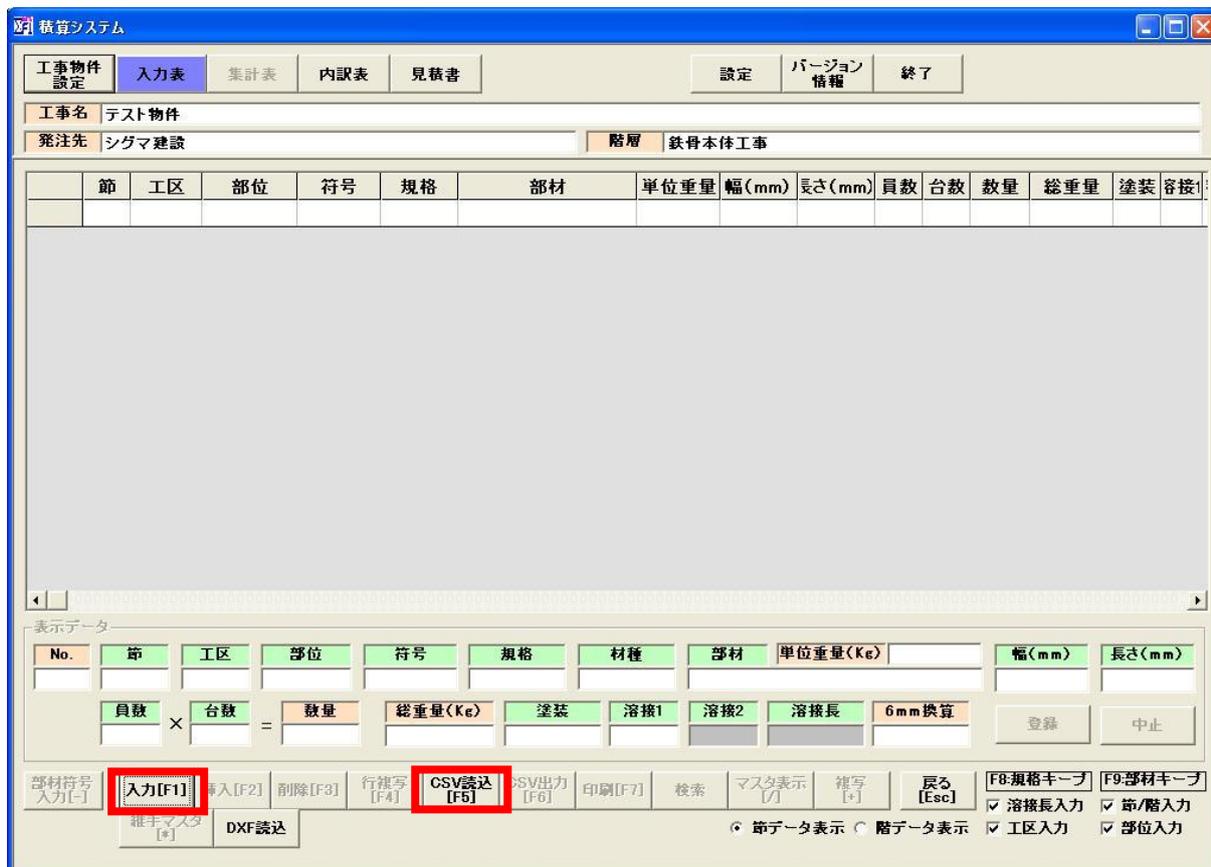
登録 中止

階層入力 [F1] 挿入[F2] 削除[F3] **データ入力 [F4]** 階層取込み [F5] 閉じる[Esc]

※「データ入力」ボタンをクリックして下さい。

## 2.3.2 入力方法選択

データ入力を行うか、CSV 読み込みを行うか選択して下さい。



※データ入力は、**手動でデータ入力**する形となります。

※CSV 読み込みは、**CSV ファイルがある場合に、データを一度に読み込み**する事ができます。

**注意**: CSV 読み込みする場合は、CSV ファイルが以下の通りになっているか確認して下さい。



**注意** : 部材マスターに登録されていない部材については、CSV 読み込みできません。

※溶接長入力のチェックを外せば、**溶接項目の入力は行いません**。

### 2.3.3 手動入力時の場合

各項目を入力します。

※符号にフォーカスがある時、「部材符号入力」ボタンをクリックすると、部材符号状態になります。

部材符号入力時は、「部材」「台数」の2つの項目を入力して下さい。それ以外は、入力できません。

部材符号状態を解除したい場合は、符号の項目で「Home」ボタンを押すと解除されます。

## 規格項目について



※規格については、フォーカスが来ると、上図のように、マスターが表示されます。  
マスターの登録番号を入力するか、直接、マスターをクリックする事により、データ取得できます。

※規格にフォーカスがある時「マスター編集」ボタンをクリックすると、規格マスター編集画面が表示されます。

## 部材の項目について

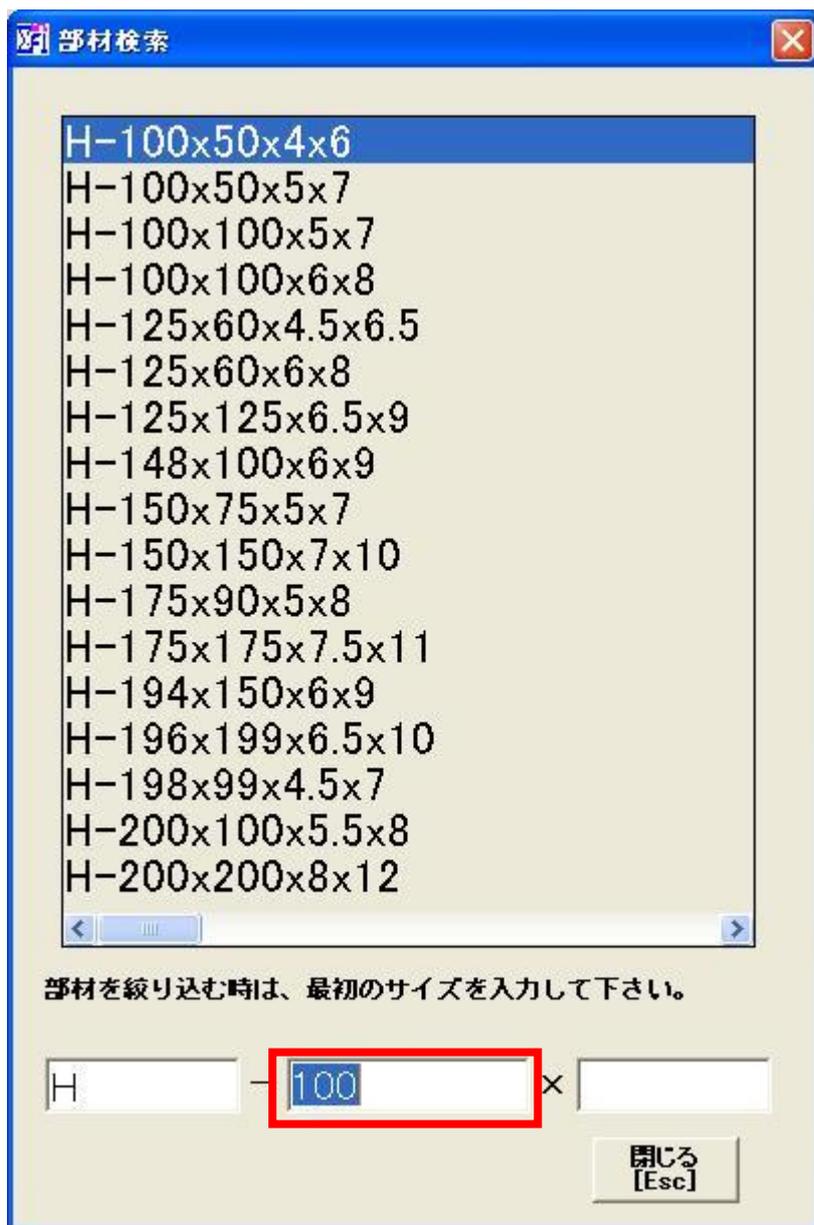


※ 部材については、フォーカスが来ると、上図のように、マスターが表示されます。  
**マスターの登録番号を入力するか、直接、マスターをクリック**する事により、データ取得できます。

例として「H-100x100x6x8」を選択してみます。

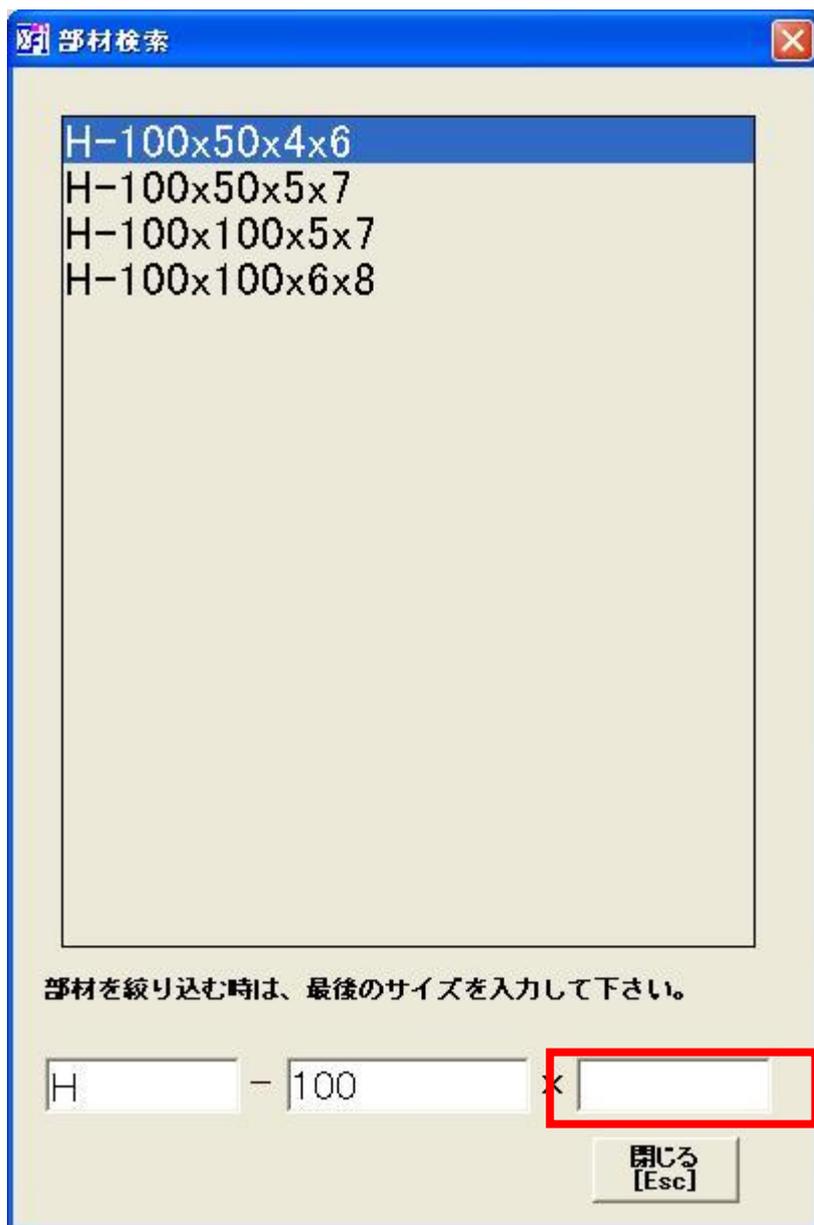
始めに赤枠のフォーカスの中で、「27」と入力します。(Hは27番目なので)

すると以下の画面が表示されます。



赤枠部分のフォーカスは、部材の最初のサイズを入力する項目になります。

「100」と入力すると部材の絞り込みを行います。



最初のサイズが「100」の部材だけ絞り込んで表示します。  
赤枠のフォーカス部分で部材の最後のサイズを入力して下さい。  
「8」と入力すると部材の絞り込みが終了します。

なお、「HTB」の時だけ、最初のサイズを入力して部材を絞り込んだら、次は、**最後のサイズを入力**して下さい。

※材種から部材を検索する以外の方法もあります。「6.1.2 入力 No について」を参照して下さい。

## 幅/長さについて

H 形鋼であれば長さを入力、PL 類であれば幅と長さを、というように**材料によって入力方法が変わります。**

## 員数/台数について

材料の数量を入力します。**員数 x 台数 = 数量**となります。どちらも、最低 1 以上の数字を入力して下さい。

員数・台数の項目まで、正しく入力されると、**総重量が自動的に計算されます。**

## 塗装について

鋼材の塗装面積を集計するかどうかの選択をします。「1:有り」「2:無し」「3:メッキ」

## 溶接について

溶接入力を行いたい場合は、**溶接長入力のチェックを入れて下さい。**材料に合わせて、溶接方法等を選択すると、**6mm 換算が自動的に計算されます。**

## 補足：幅/長さの単位を mm から m に変更したい場合

「設定」ボタンから以下の画面で変更して下さい。



## 材種がBH/BB/BT 時の入力について

計算システム - [データ入力]

工事物件設定 | **入力表** | 集計表 | 内訳表 | 見積書 | 談定 | 終了

工事名 竣工図変換テスト

発注先 テクノ建設 階層 鉄骨本体工事

	符号	規格	部材	単位重量	幅(mm)	長さ(mm)	員数	台数	数量	総重量	塗装	溶接1	溶接2	溶接長	6mm換算
1	-----		2G2-1					1							
2															

BH入力画面

始めに「絞り有り」か「絞り無し」かを選択して下さい。  
その後、各項目を入力して[OK]ボタンをクリックして下さい。

絞り無し  
 絞り有り

BH -  ウェブ幅 -  ウェブ絞り -  フランジ幅 ×  フランジ絞り ×  ウェブ厚 ×  フランジ厚

データ入力

No.	部	階	部位	符号	規格	材種	部材	単位重量(Kg)	幅(mm)	長さ(mm)
2				2G2-1	SS400	BH				

員数 × 台数 = 数量    総重量(Kg)    塗装    溶接1    溶接2    溶接長    6mm換算    登録    中止

部材符号入力[F1]    データ入力[F2]    挿入[F2]    削除[F3]    行複写[F4]    CSV読み込み[F5]    CSV出力[F6]    印刷[F7]    戻る[Esc]

溶接長入力     部入力  
 階入力     部位入力

※BH/BB/BT 時は、上図の赤枠項目に手入力して下さい。

# データサンプル

試算システム

工事物件設定 | **入力表** | 集計表 | 内訳表 | 見積書 | 設定 | バージョン情報 | 終了

工事名: 二重梁4  
発注先: 階層 | 鉄骨本体工事

No	節	工区	部位	符号	規格	部材	単位重量	幅(mm)	長さ(mm)	員数	台数	数量	総重量	塗装	溶接1	溶接2
1			大梁	-----		2G1-1						1				
2	1節		大梁	2G1-1	SS400	H-300x300x10x15	93		9,980	1	1	1	928.2	有り		
3	1節		スワイス	GJI-F	SS400	S.PL-12	94.2	300	410	4	1	4	46.4	有り		
4	1節		スワイス	GJI-A	SS400	S.PL-12	94.2	100	410	8	1	8	30.9	有り		
5	1節		スワイス	GJI-W	SS400	S.PL-12	94.2	140	410	4	1	4	21.7	有り		
6	1節		HTB	GJI	S10T	HTB-M20x70	0.41			48	1	48	19.7	有り		
7	1節		HTB	GJI	S10T	HTB-M20x65	0.398			24	1	24	9.6	有り		
8	1節		仮ボルト	仮ボルト	S10T	BOLT-20x75	0.422			8	1	8	3.4	有り		
9	1節		仮ボルト	仮ボルト	S10T	BOLT-20x70	0.41			2	1	2	0.9	有り		
10			大梁	-----		2G1-2						1				
11	1節		大梁	2G1-2	SS400	H-300x300x10x15	93		3,980	1	1	1	370.2	有り		
12	1節		スワイス	GJI-F	SS400	S.PL-12	94.2	300	410	4	1	4	46.4	有り		
13	1節		スワイス	GJI-A	SS400	S.PL-12	94.2	100	410	8	1	8	30.9	有り		
14	1節		スワイス	GJI-W	SS400	S.PL-12	94.2	140	410	4	1	4	21.7	有り		
15	1節		HTB	GJI	S10T	HTB-M20x70	0.41			48	1	48	19.7	有り		
16	1節		HTB	GJI	S10T	HTB-M20x65	0.398			24	1	24	9.6	有り		
17	1節		仮ボルト	仮ボルト	S10T	BOLT-20x75	0.422			8	1	8	3.4	有り		
18	1節		仮ボルト	仮ボルト	S10T	BOLT-20x70	0.41			2	1	2	0.9	有り		
19	1節		リフケット	S6	SS400	G.PL-9	70.65	135	268	2	1	2	5.2	有り		6
20			大梁	-----		2G1-4						1				
21	1節		大梁	2G1-4	SS400	H-300x300x10x15	93		11,980	1	1	1	1,114.2	有り		
22	1節		スワイス	GJI-F	SS400	S.PL-12	94.2	300	410	4	1	4	46.4	有り		
23	1節		スワイス	GJI-A	SS400	S.PL-12	94.2	100	410	8	1	8	30.9	有り		
24	1節		スワイス	GJI-W	SS400	S.PL-12	94.2	140	410	4	1	4	21.7	有り		
25	1節		HTB	GJI	S10T	HTB-M20x70	0.41			48	1	48	19.7	有り		
26	1節		HTB	GJI	S10T	HTB-M20x65	0.398			24	1	24	9.6	有り		

表示データ

No	節	工区	部位	符号	規格	材種	部材	単位重量(Kg)	幅(mm)	長さ(mm)
181	1節		リフケット	梁裏当て	SN490B	FB	9x25	1.77		330
員数	台数	数量	総重量(Kg)	塗装	溶接1	溶接2	溶接長	6mm換算		
1	2	2	1.2	有り	6		330	1,848		

登録 | 中止

部材符号入力 | 入力[F1] | 挿入[F2] | 削除[F3] | 行複写[F4] | CSV読込[F5] | CSV出力[F6] | **印刷[F7]** | 検索 | マスタ表示[F] | 複写[+] | 戻る[Esc] | F8:規格キー | F9:部材キー |  溶接長入力 |  節/階入力 |  工区入力 |  部位入力

## 各ボタンについて

挿入ボタン : 選択している行の間にデータを挿入することができます。

削除ボタン : 選択している行を削除できます。複数選択可能

行複写ボタン : 選択している行を複写します。複数選択可能

CSV 読込ボタン : 項目 2.3.2 において、説明済み

CSV 出力ボタン : 現在、入力されているデータを CSV ファイルに書込みします。

印刷ボタン : 入力表や製品データ一覧表を印刷できます。

検索ボタン: 探したい合番等、文字検索を行えます。

マスタ表示: 規格や部材のマスタを表示させるボタンです。

戻るボタン : 階層画面に移動します。

### 節・階・工区・部位について

節・階・工区・部位の入力及び集計については、対応しているバージョンをご購入願います。

節 : 2文字以内で入力

階 : 3文字以内で入力

工区 : 3文字以内で入力

部位 : 4文字以内で入力

### 2.4 印刷について

「印刷」ボタンをクリックすると、入力表と製品一覧表が印刷できます。

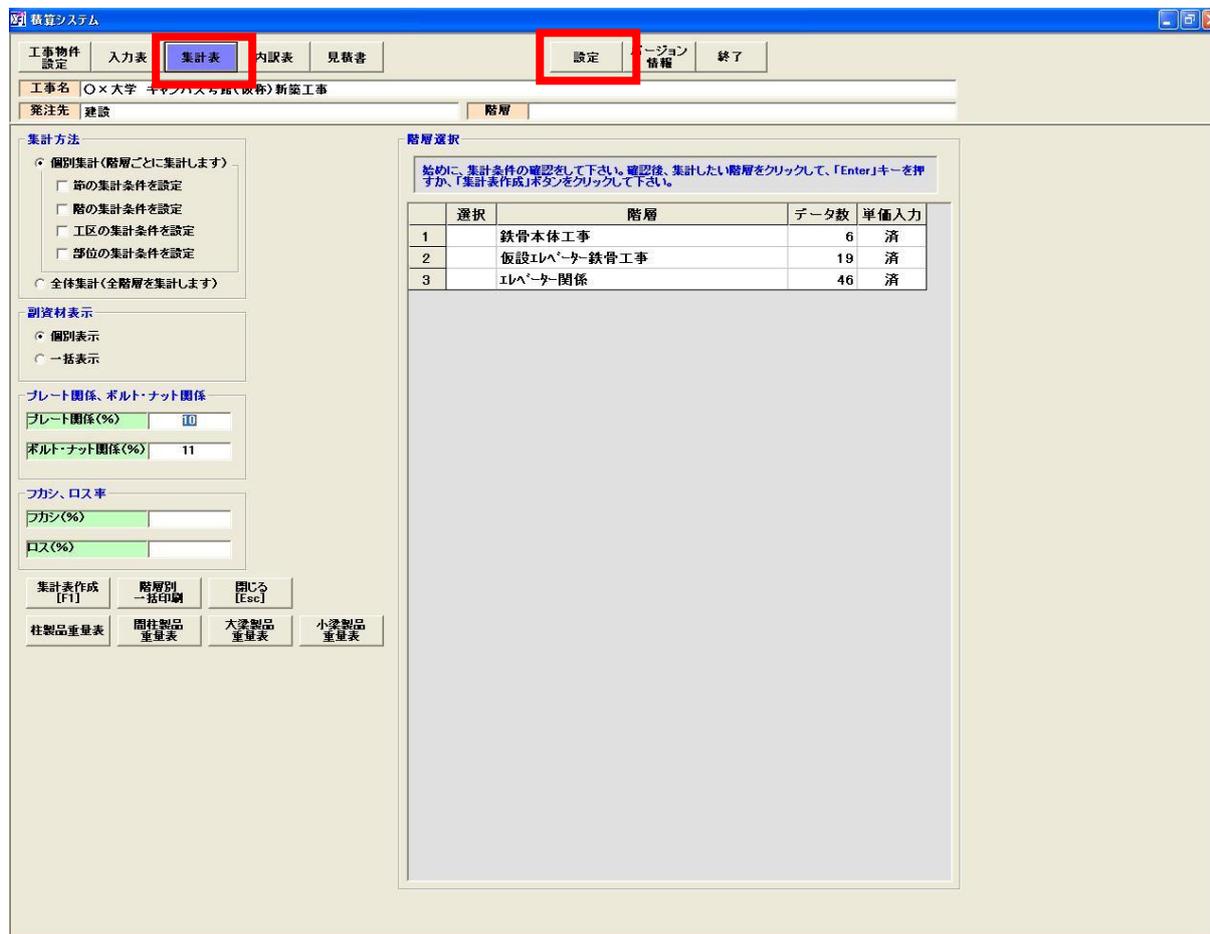
項目「7.1 入力表サンプル」と「7.2 製品一覧表サンプル」を確認して下さい。

### 3. 集計表

入力表のデータを集計します。「集計表」ボタンをクリックして下さい。

#### 3.1 集計条件を選択

各集計条件を確認して下さい。



#### ※集計方法について

個別集計：各階層ごとにデータを集計します。

全体集計：全ての階層データを一括で集計します。

個別集計時において、**複数階層を選択して集計したい場合は**、「設定」ボタンをクリックして集計条件を変更して下さい。下図の赤枠部分で変更できます。

#### 節・階・工区・部位について

**節・階・工区・部位の個別集計については、対応しているバージョンをご購入願います。**

### 3.1.1 集計条件変更画面

積算システム - [設定画面]

操作キー

部材マスター編集   テーブル編集   副資材設定   **入力・集計・内訳設定**   単価マスター編集   各種設定   雑手設定   閉じる

**入力表項目**

編集したい項目を選択して下さい。

入力単位

BH・BT・BB 計算方法

部材検索方法

材種順番設定

施工図積算

**集計表項目**

編集したい項目を選択して下さい。

集計設定

集計規格設定

集計総括設定

**内訳表項目**

編集したい項目を選択して下さい。

内訳設定

**詳細設定**

フカシ入力表示

未集計部材は、単価マスターのロス率と単価を読込む

「塗装面積」「メッキ塗装」を表示する

「塗装面積」「メッキ塗装」の単価入力を行う

「塗装無し」の塗装面積を表示する

塗装色別の集計条件を表示する

**プレート関係、ボルト・ナット関係**

入力設定

「%」入力

「重量(Ke)」入力

**算出カラム**

主材の合計から算出

主材と副資材の合計から算出

**集計単位**

1番:規格   2番:部材

1番:部材   2番:規格

**塗装面積の計算方法**

マスターデータを使用し、データが無い場合は、対応する部材のみ計算

マスターデータのみを使用する

マスターデータを使用せず、対応する部材のみ計算

対応部材一覧

**個別集計方法**

集計する階層は、一階層のみ

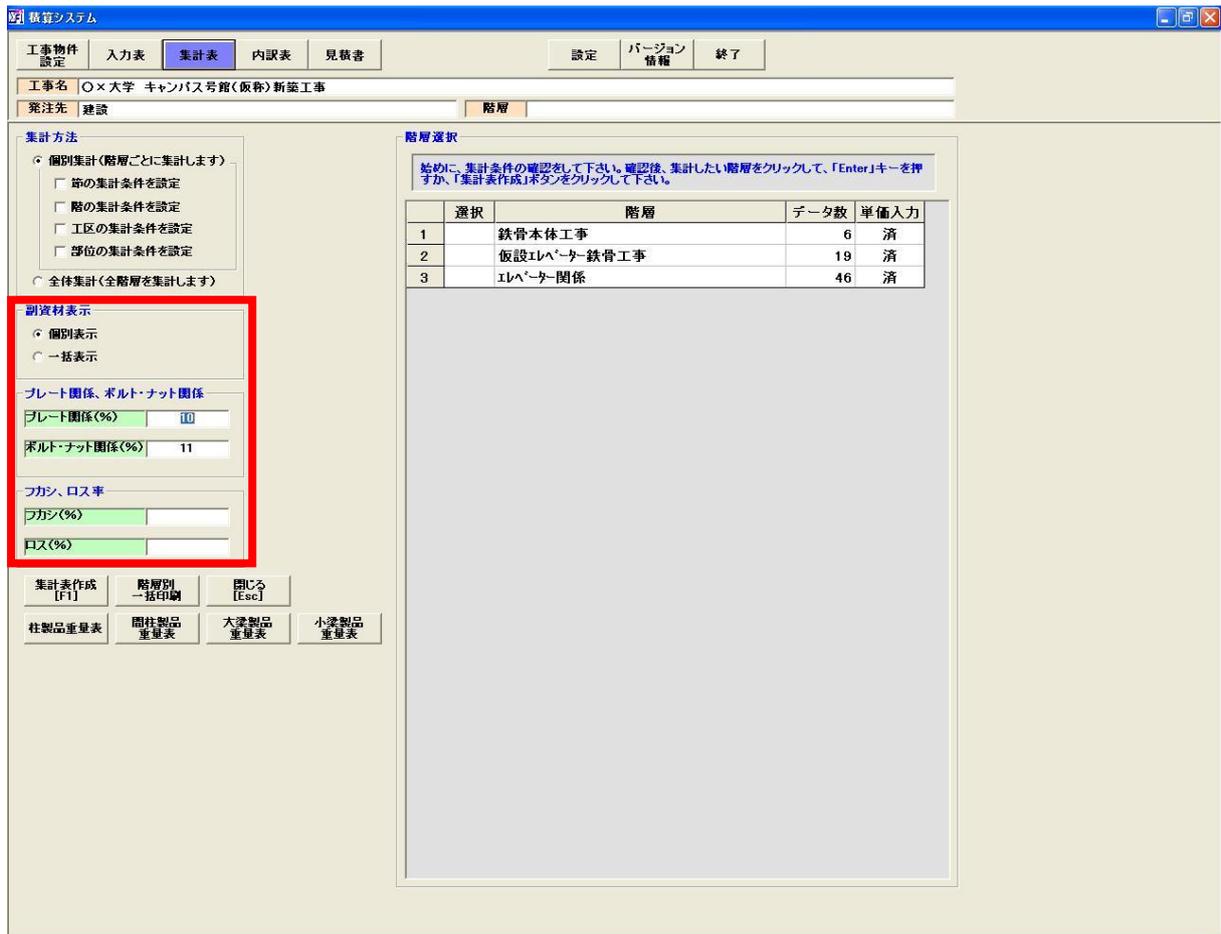
複数の階層を選択して、集計する

**集計条件**

通常集計

柱・梁・ガセットごとに分けて集計する

鋼材設定   ボルト設定



### ※プレート関係、ボルト・ナット関係

集計時に「**鉄骨本体工事**」が含まれる時に、適用されます。

集計した鋼材データの合計重量から、入力した「%」分を重量として追加します。

なお、合計重量の算出方法は、「**主材の合計から算出**」と「**主材と副資材の合計から算出**」の2種類があります。

上図の赤枠部分で合計重量の算出方法を変更できます。

### ※副資材表示

個別表示 : 同じ材種でも**サイズが異なれば**、別として表示します。

一括表示 : 同じ材種であれば、**サイズが異なっても**、まとめて表示します。

例:HTB の場合

HTB M16・・・100本 M22・・・80本の場合

一括表示の場合・・・HTB 180本

個別表示の場合・・・HTB M16 x 100本

M22 x 80本

※フカシ、ロス率

フカシ : ロス率を設定する前の集計重量にあらかじめ上乘せしておく分を指します。

ロス率 : 集計した鋼材データのロス率を一括設定します。

どちらも一度入力すると、**自動的にマスター登録されますので、次回集計時は、前回入力したフカシ、ロスを自動的に引っ張ってきます。**

各集計条件を確認したら、「**集計表作成**」ボタンをクリックして、集計を始めて下さい。

### 3.2 集計表作成

鉄骨本体工事を集計した結果が以下になります。**重量(NET/Gross)を自動計算**します。

**集計は規格別・部材別でまとめますので、部材ごとに単価を入力して下さい。**

No.	規格	部材	フカシ	m <sup>2</sup> m本個	NET	ロス	Gross	単価	金額
1	SS400	L-65x32x4	5	12.6 m	61	5	65		
2	SS400	H-200x100x5.5x8	5	15.75 m	330	5	347		
3	SS400	H-300x150x6.5x9	5	75.6 m	2,775	5	2,914		
4	SS400	L-65x65x6	5	45.36 m	269	5	283		
5	SS400	PL-6	5	2.218 m <sup>2</sup>	105	5	111		
6	SS400	PL-9	5	3.024 m <sup>2</sup>	214	5	225		
7	SS400	PL-12	5	3.1 m <sup>2</sup>	293	5	308		
8	SS400	プレス-16	5	139.44 m	221	5	233		
9	SN490C	PL-16	5	3.15 m <sup>2</sup>	396	5	416		
10	SN490C	PL-19	5	0.515 m <sup>2</sup>	77	5	81		
11	BCR295	2C-100x50x20x2.3	5	25.2 m	205	5	216		
12	BCR295	PAイデッキ-1.6xZ12	5	0.137 m <sup>2</sup>	4	5	5		
13	STKR400	KP-200x200x9	5	78.33 m	4,097	5	4,302		
14	無規格	CH-PL-4.5	5	18.724 m <sup>2</sup>	693	5	728		
15		PAイデッキ-1.4xZ12	5	0.095 m <sup>2</sup>	3	5	4		
主材合計					9,743		10,238		
プレート関係					10 %	975	5	1,024	
ボルト・ナット関係					11 %	1,072	5	1,126	
副資材合計						2,047		2,150	
塗装面積					248.131 m <sup>2</sup>				
6mm換算溶接長					84.88 m				

No.	規格	部材	フカシ(%)	m <sup>2</sup> m本個	NET	ロス(%)	Gross
1	SS400	L-65x32x4	5	12.6 m	61	5	65

各種合計	
NET合計	11,790
Gross合計	12,388
合計金額	0

※表記されているデータは、規格と部材でソートが行われています。

集計順位を変更したい場合は、「3.1.1 集計順位変更画面」の「集計順位」項目を変更して下さい。

※各部材の**単価を入力**して下さい。単価を入力したい部材を選択して、「Enter」キーやダブルクリックをすると、単価の編集が行える状態になります。

**自動的にマスター登録されますので、次回集計時は、前回入力した単価を自動的に引っ張ってきます。**

※**塗装面積/メッキ塗装/6mm 換算溶接長**も自動計算します。

「塗装面積」「メッキ塗装」の単価入力を行いたい場合は、項目「3.1.1 集計条件変更画面」で設定変更を行って下さい。

「再計算」ボタンをクリックすると、各集計条件を再設定の上で、集計を実施できます。

The screenshot shows the '集計システム' (Calculation System) interface. The main table lists materials with columns: No., 規格 (Specification), 部材 (Part), フカシ (Spacing), m<sup>2</sup>m本価 (Unit Price), NET, ロス (Loss), and Gross. A '再計算条件' (Recalculation Conditions) dialog box is open, with the checkbox '単価マスターからロス率と単価を読み込んで計算' (Calculate by loading loss rate and unit price from the unit price master) checked. The dialog also includes options for '副資材表示' (Sub-material display) and 'プレート関係、ボルト・ナット関係' (Plate, Bolt, Nut relationship) with input fields for percentages. At the bottom, there are summary statistics for '各種合計' (Various Totals) including NET, Gross, and Total Amount.

※「単価マスターからロス率と単価を読み込んで計算」にチェックを入れて再計算すると、自動的に単価マスターに登録されている値を引っ張ってきます。  
 事前に、単価マスターへの登録が必要となります。「単価マスター編集」ボタンから実施して下さい。

「印刷」ボタンをクリックすると、**集計表/明細票/部材内訳表**の印刷が行えます。

The screenshot shows a software window titled "積算システム" (Estimation System). The main area contains a table with the following data:

No.	規格	部材	フカン	m <sup>2</sup> m本個	NET	ロス	Gross	単価	金額	
1	SS400	L-65x32x4	5	12.6 m	61	5	65			
2	SS400	H-200x100x5.5x8				5	347			
3	SS400	H-300x150x6.5x9				5	2,914			
4	SS400	L-65x65x6				5	283			
5	SS400	PL-6				5	111			
6	SS400	PL-9				5	225			
7	SS400	PL-12				5	308			
8	SS400	プレス-16				5	233			
9	SN490C	PL-16				5	416			
10	SN490C	PL-19				5	81			
11	BCR295	2C-100x50x20x2.3				5	216			
12	BCR295	PAイテッキ-1.6xZ12				5	5			
13	STKR400	KP-200x200x9				5	4,302			
14	無規格	CH-PL-4.5				5	728			
15		PAイテッキ-1.4xZ12				5	4			
								10,238		
								1,024		
								1,126		
								2,150		
				6mm換算溶接長	84.88 m					

The modal dialog box "印刷設定" (Print Settings) is open, showing options for "印刷項目" (Print Items) and "部材内訳表" (Material Breakdown Table). The "印刷項目" section includes checkboxes for "集計表 (小計有り)" and "明細表 (小計有り)", each with a "CSV出力" button. The "部材内訳表" section includes checkboxes for "2C", "CH", "H", "KP", "L", and "PL", along with "全選択/全解除" and "小計有り" options. The "印刷" button is highlighted.

At the bottom of the window, there is a "表示データ" (Display Data) section with a small table and a "各種合計" (Various Totals) section with a summary table.

※印刷したい項目にチェックを入れた後、「印刷」ボタンをクリックして下さい。

項目「7.3 集計表サンプル」と「7.4 明細票サンプル」を確認して下さい。

※項目ごとに「CSV 出力」する事も可能です。

「戻る」ボタンをクリックすると、集計前の画面に移動します。

積算システム

工事物件設定 入力表 集計表 内訳表 見積書 設定 バージョン情報 終了

工事名 ○×大学 キャンパス号館(仮称)新築工事

発注先 建設 階層

集計方法

- 個別集計(階層ごとに集計します)
  - 節の集計条件を設定
  - 階の集計条件を設定
  - 工区の集計条件を設定
  - 部位の集計条件を設定
- 全体集計(全階層を集計します)

副資料表示

- 個別表示
- 一括表示

プレート関係、ボルト・ナット関係

プレート関係(%)

ボルト・ナット関係(%)

フカシ、ロス率

フカシ(%)

ロス(%)

集計表作成 [F1] 階層別一括印刷 閉じる [Esc]

柱製品重量表 間柱製品重量表 大梁製品重量表 小梁製品重量表

階層選択

始めに、集計条件の確認をして下さい。確認後、集計したい階層をクリックして、「Enter」キーを押すか、「集計表作成」ボタンをクリックして下さい。

選択	階層	データ数	単価入力
1	鉄骨本体工事	6	済
2	仮設エレベーター鉄骨工事	19	済
3	エレベーター関係	46	済

※単価入力が終わった階層については、「単価入力」の項目が「済」になります。

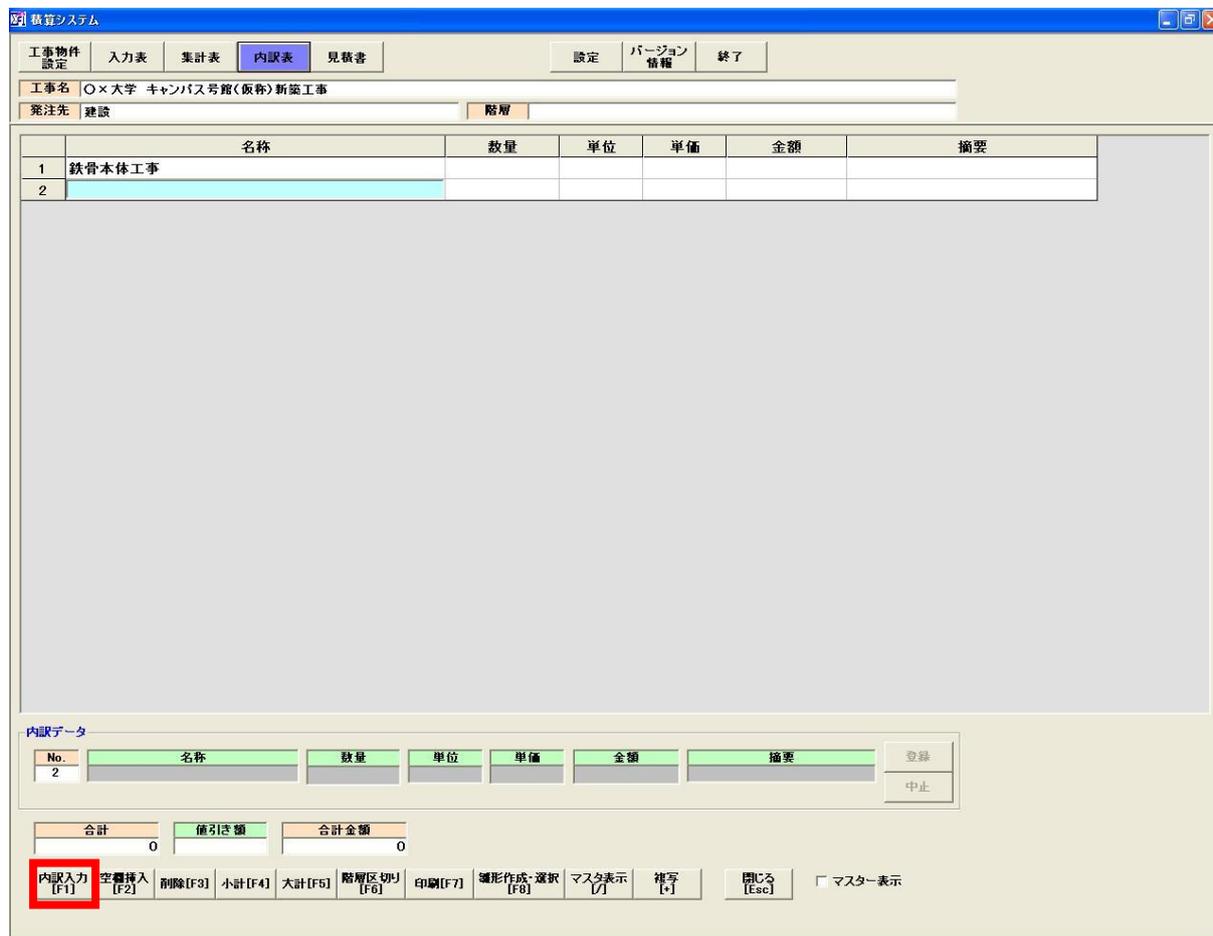
**注意** : 個別集計時は、各階層の単価入力を忘れずに行ってください。

## 4. 内訳表

内訳表の作成を行います。「内訳表」ボタンをクリックして下さい

### 4.1 内訳データ作成

「**鉄骨本体工事**」は自動的に作成されますので、「**鉄骨本体工事**」の内訳データを作成します。



※内訳表を開いたら、そのまま「Enter」キーを押して下さい。内訳データを作成できる状態になります。

※新規に内訳データを作成する時は、「**内訳入力**」ボタンをクリックして下さい。

#### 4.1.1 名称・単位・適用の項目について



※データ入力表と同じように、登録番号を入力するか、直接、マスターをクリックする事によりデータ取得できます

※各項目の「マスター編集」ボタンをクリックすると、マスター編集画面が表示されます。

名称 : 30 文字以内で入力

単位 : 5 文字以内で入力

摘要 : 20 文字以内で入力

#### 4.1.2 数量・金額の項目について(鉄骨本体工事の場合)

試算システム

工事物件 設定 入力表 集計表 **内訳表** 見積書 設定 バージョン情報 終了

工事名 O×大学 キャンパス号館(仮称)新築工事

発注先 建設 階層

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	鉄骨本体工事					
2	鋼材費	351				

鉄骨本体工事

主材NET合計	272
副資材NET合計	58
NET合計	330
主材Gross合計	289
副資材Gross合計	62
Gross合計	351

内訳データ

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
2	鋼材費	351				

合計 0 値引き額 合計金額 0

内訳入力 [F1] 空欄挿入 [F2] 削除 [F3] 小計 [F4] 大計 [F5] 階層区切り [F6] 印刷 [F7] 画面作成・選択 [F8] マスタ表示 [I] 複写 [V] 閉じる [Esc]  マスター表示

※数量の項目にフォーカスが来ると、「鉄骨本体工事」の集計した値(NET/Gross)を自動的に表示しますので、最適な値を選択して下さい。手動での入力も可能です。  
 名称が鋼材費の時 : Gross 合計の値が自動入力されます。  
 名称が副資材費の時 : 副資材 Gross 合計の値が自動入力されます。

※金額の項目にフォーカスが来ると、「鉄骨本体工事」の集計した値(合計金額)を自動的に表示しますので、最適な値を選択して下さい。手動での入力も可能です。

#### 4.1.3 数量・金額の項目について(鉄骨本体工事以外の場合)

「階層区切り」ボタンを使用して、階層ごとに区切ってから内訳データを入力して下さい。

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	鉄骨本体工事					
2	鋼材費	351	kg	124	43,524	
3	副資材費	62	kg	8	496	
4	工作図費	351	kg	12	4,212	
5	----階層区切り----					
6	現場建方工事費					
7	現場建方工事費	351	kg	124	43,524	
8	現場重機費	351	kg	8	2,808	
9	----階層区切り----					
10	付帯工事					
11						

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
11						

合計	94,564	値引き額		合計金額	94,564
----	--------	------	--	------	--------

内訳入力 [F1] | 空欄挿入 [F2] | 削除 [F3] | 小計 [F4] | 大計 [F5] | **階層区切り [F6]** | 印刷 [F7] | 雛形作成・選択 [F8] | マスタ表示 [J] | 複写 [V] | 閉じる [Esc] |  マスタ表示

※階層区切りを実施していれば、現在、**選択している階層の数量や金額を自動的に表示します。**

※「階層区切り」ボタンは、**階層を順番に表示して区切る事**ができます。

(「階層区切り」行の次行は、階層と同じ扱いとなります。)

## 4.2 小計

これまでに入力したデータの合計額を求めます。

試算システム

工事物件設定 入力表 集計表 **内訳表** 見積書 設定 バージョン情報 終了

工事名 O×大学 キャンパス号館(仮称)新築工事

発注先 建設 階層

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	鉄骨本体工事					
2	鋼材費	351	kg	124	43,524	
3	副資材費	62	kg	8	496	
4	工作図費	351	kg	12	4,212	
5	小計				48,232	
6	-----階層区切り-----					
7	現場建方工事費					
8	現場建方工事費	351	kg	124	43,524	
9	現場重機費	351	kg	8	2,808	
10	小計				46,332	
11	付帯工事					
12						
13						

内訳データ

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	鉄骨本体工事					

合計 94,564 値引き額 合計金額 94,564

内訳入力 [F1] 空欄挿入 [F2] 削除 [F3] **小計 [F4]** 大計 [F5] 階層区切り [F6] 印刷 [F7] 雛形作成・選択 [F8] マスター表示 [J] 複写 [V] 閉じる [Esc]  マスター表示

※上図の赤枠のように、前の小計から選択している内訳データまでの合計金額を求めます。

※小計行は編集できません。

### 4.3 大計

小計の合計を算出することができます。

鉄骨本体工事

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	鉄骨本体工事					
2	鋼材費	351	kg	124	43,524	
3	副資材費	62	kg	8	496	
4	工作図費	351	kg	12	4,212	
5						小計
6	----					階層区切り----
7	現場建方工事費					
8	現場建方工事費	351	kg	124	43,524	
9	現場重機費	351	kg	8	2,808	
10						小計
11						大計
12	----					階層区切り----
13	付帯工事					
14						

合計 94,564 値引き額 合計金額 94,564

内訳入力 [F1] 空欄挿入 [F2] 削除 [F3] 小計 [F4] 大計 [F5] 階層区切り [F6] 印刷 [F7] 雛形作成・選択 [F8] マスター表示 [J] 複写 [V] 閉じる [Esc]  マスター表示

※前の大計から選択している内訳データまでの合計金額を求めます。

※大計行は選択できません。

## 4.4 印刷

内訳表を印刷します。

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	鉄骨本体工事					
2	鋼材費	351	kg	124	43,524	
3	副資材費	62	kg	8	496	
4	工作図書			12	4,212	
5					48,232	
6	----階層区切り----					
7	現場建方工事費					
8	現場建方工事費	24			43,524	
9	現場重機費	8			2,808	
10					46,332	
11					94,564	
12	----階層区切り----					
13	付帯工事					
14						

印刷設定

印刷項目

通常印刷

階層区切り

小計区切り

内訳総括表付き

用紙サイズ

A4  B5

フォント設定

MS ゴシック

MS 明朝

使用するプリンタ

PrimoPDF

印刷 プレビュー Exce出力 中止

内訳データ

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	鉄骨本体工事					

合計 94,564 値引き額 合計金額 94,564

内訳入力 [F1] 空欄挿入 [F2] 削除 [F3] 小計 [F4] 大計 [F5] 階層区切り [F6] 印刷 [F7] 雛形作成・選択 [F8] マスタ表示 [F9] 複写 [F10] 閉じる [Esc]  マスタ表示

### ※印刷項目について

通常印刷 : 内訳データをそのまま印刷します。

階層区切り: 階層区切りされている行で、改ページ印刷をします。

小計区切り: 小計区切りされている行で、改ページ印刷をします。

### ※内訳総括表について

各階層名のみ印刷表示されます。内訳データは印刷されません。金額は、各階層の合計値となります。

### ※CSV出力について

内訳表と内訳総括表の2つをCSV出力できます。

項目「7.5.1 内訳総括表サンプル」と「7.5.2 内訳表サンプル」を確認して下さい。

## 4.5 消費税設定

消費税の設定は、「設定」ボタンをクリック後、以下の画面で行って下さい。



#### 4.6 内訳表雛形作成

事前に、内訳表の雛形パターンを作成しておき、内訳表を作る際にパターンを選択すると名称や単位が入った状態で表示されます。

「**雛形作成・選択**」ボタンをクリックして下さい。

積算システム

工事物件設定 | 入力表 | 集計表 | **内訳表** | 見積書

設定 | バージョン情報 | 終了

工事名 O×大学 キャンパス号館(仮称)新築工事

発注先 建設 階層

	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	鉄骨本体工事					
2	鋼材費	351	kg	124	43,524	
3	副資材費	62	kg	8	496	
4	工作図費	351	kg	12	4,212	
5						小計
6	----					階層区切り----
7	現場建方工事費					
8	現場建方工事費	351	kg	124	43,524	
9	現場重機費	351	kg	8	2,808	
10						小計
11						大計
12	----					階層区切り----
13	付帯工事					
14	現場接合部塗装費		一式		75,000	

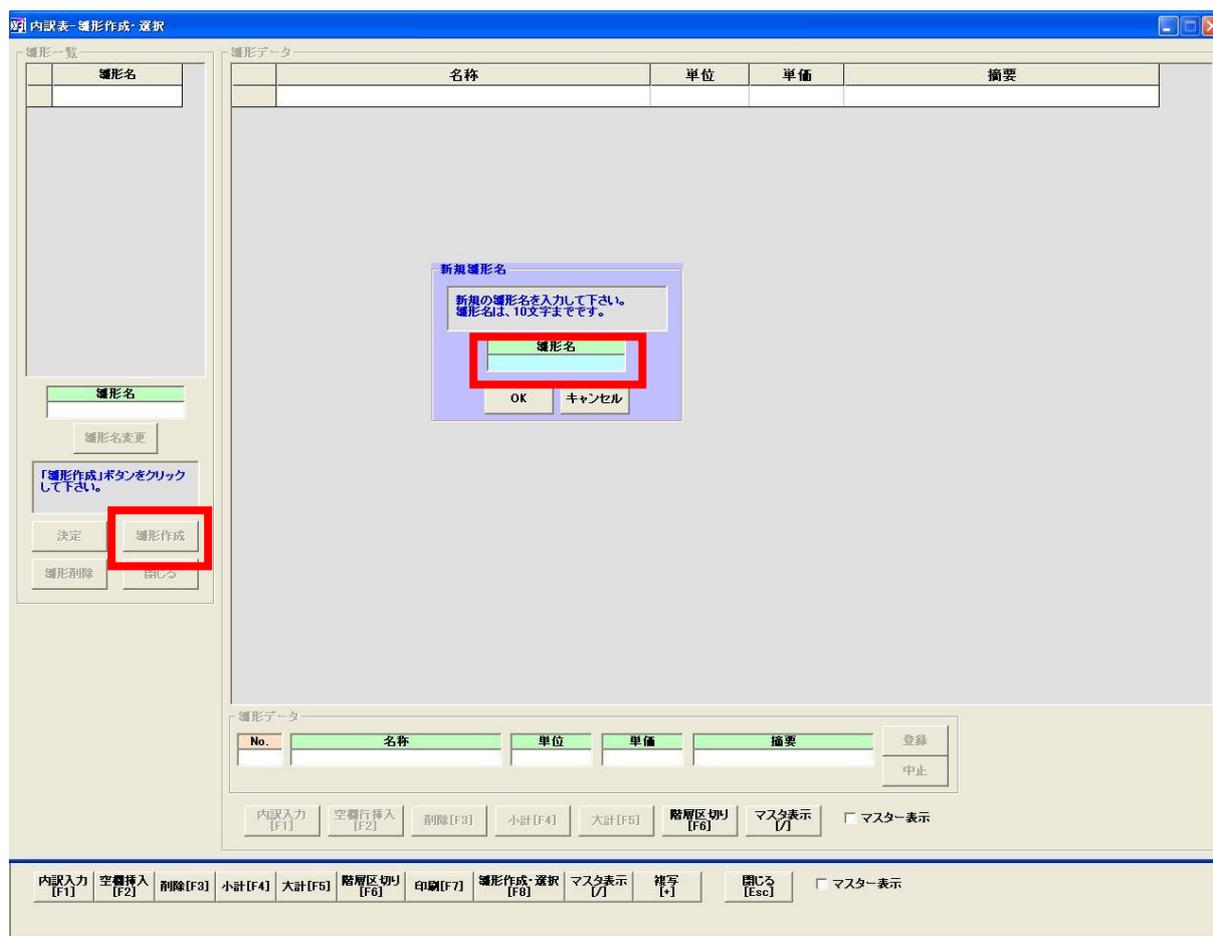
内訳データ

No.	名称	数量	単位	単価	金額	摘要
1	鉄骨本体工事					

合計 169,564 値引き額 合計金額 169,564

内訳入力 [F1] | 空欄挿入 [F2] | 削除 [F3] | 小計 [F4] | 大計 [F5] | 階層区切り [F6] | 印刷 [F7] | **雛形作成・選択 [F8]** | マスター表示 [F9] | 複写 [F10] | 閉じる [Esc] |  マスター表示

雛形画面が表示されます。



「**雛形作成**」ボタンをクリックして、雛形名を入力して下さい。

#### 4.7.1 雛形データ入力

「内訳入力」ボタンをクリックすると、雛形データを作成できます。

No.	名称	単位	単価	摘要
2				

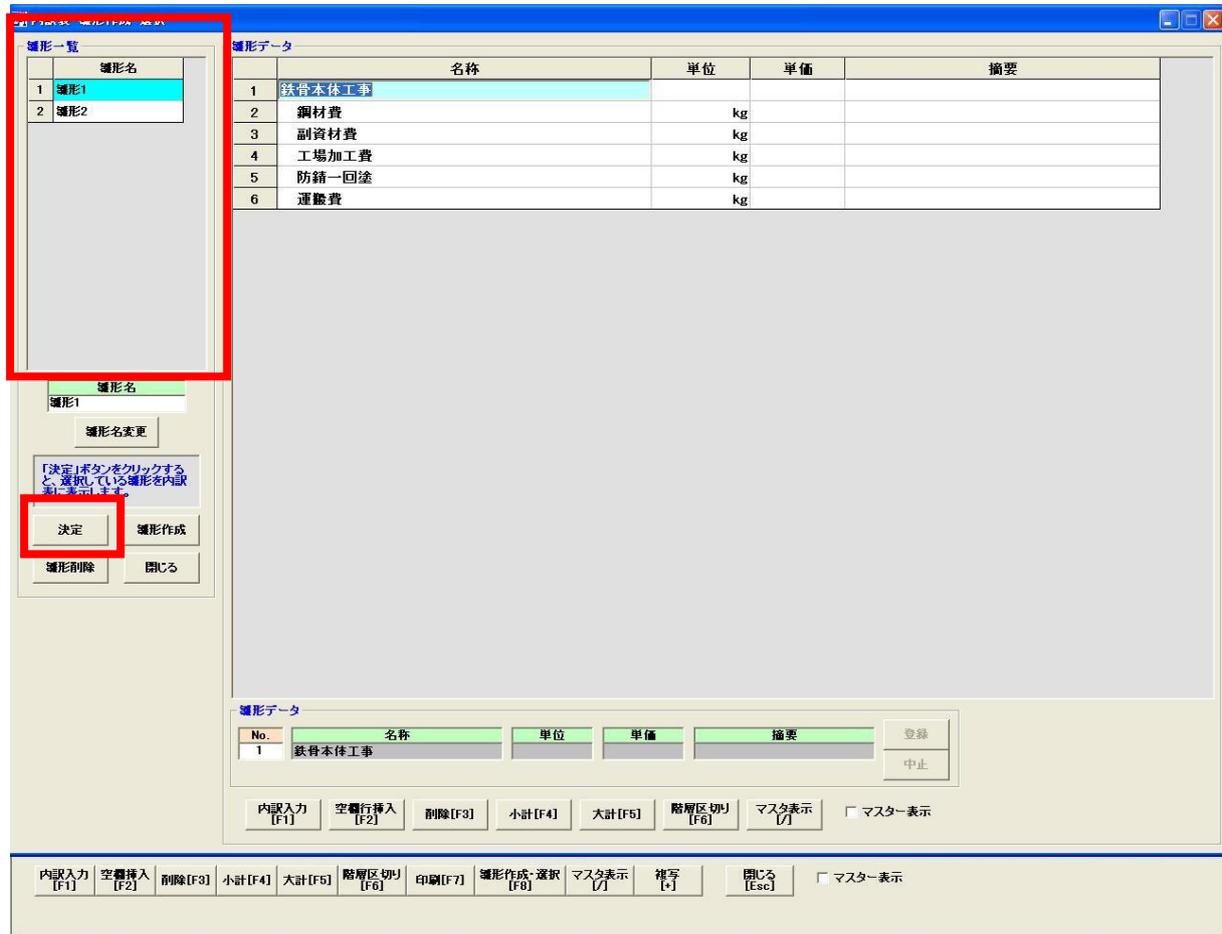
※雛形データの入力は、「4.1.1 名称・単位・適用の項目について」を参照して下さい。

※小計や大計は、雛形上では特に計算を行いません。雛形データを内訳表に表示した時に、小計や大計の計算を行います。

※「雛形作成」ボタンをクリックすれば、新規の雛形を作成できます。

## 4.7.2 雛形データを内訳表に表示させる

雛形データを内訳表に表示します。



※雛形一覧から、対象の雛形名を選択してから、「決定」ボタンをクリックして下さい。

### 4.7.3 雛形表示条件

雛形データを内訳表に表示させる条件を設定します。

※雛形データを内訳表に追記する場合は、「**現在の内訳表に、雛形データを追加する**」にチェックを入れて下さい。内訳表を初期化したい場合は、「**現在の内訳表を初期化して、雛形データを表示**」にチェックを入れて下さい。

※重量自動入力は、雛形データを内訳表に表示させる際に、**数量を自動的に表示**させます。

**鋼材費/副資材費/その他** の3つに分かれています。

鋼材費 : 全体集計の「Gross 合計」が割り当てられます。

副資材費 : 全体集計の「副資材 Gross 合計」が割り当てられます。

その他 : 全体集計の「NET 合計」が割り当てられます。

重量自動入力のチェックを外せば、**内訳表の数量は「空欄」**のままとなります。

条件を設定したら、「OK」ボタンをクリックして下さい。内訳表に雛形データが表示されるので、確認して下さい。

## 5. 見積書

### 5.1 見積書選択

見積書を作成します。見積書のパターンは4つありますので、選択して下さい。標準では、「形式1」が選択されています。

The screenshot shows a software window titled "見積システム - [見積書-形式選択]". It displays four invoice templates arranged in a 2x2 grid:

- 形式1:** Features a table with columns for No, 品名, 数量, 単位, 単価, and 金額. The table is currently empty.
- 形式2:** A standard invoice layout with fields for company name, address, phone, fax, and email, along with project name, amount, and terms.
- 形式3:** A simplified invoice layout with a large total amount field and basic contact information.
- 形式4:** A detailed invoice layout with a large total amount field, specific terms, and a note about a separate sheet for detailed items.

At the bottom of the window, there is a "形式選択" (Form Selection) section with five buttons: "形式1", "形式2", "形式3", "形式4", and "閉じる". The "形式1" button is highlighted with a dashed border, indicating it is the selected option.

※形式選択のボタンをクリックするか、見積書形式を直接、ダブルクリックすると選択した見積書に移動します。

## 5.2 見積書形式1について

形式1について説明します。

見積システム - [見積書-形式1]

御見積書

No.

2012年10月24日

シグマ建設 御中

下記の通り、御見積申し上げます。何卒ご用命の程、お願い申し上げます。

工事名 テスト物件

工事場所

納期

取引条件

見積期限

合計金額 ¥0- (消費税は含まれておりません)

	品名	数量	単位	単価	金額
1	鉄骨本体工事				

合計 0 値引き額 合計金額 0

備考

見積入力 [F1] 空欄挿入 [F2] 削除 [F3] 印刷 [F4] 形式選択 [F5] 内訳表読込 [F6] **自社情報 [F7]** マスター表示 [F8] 複写 [F9] 項目変更 閉じる [Esc]

マスター表示  
 イメージ貼り付け  
 発注先を自動読込

※工事名と発注先は自動的に引っ張ってきます。

※始めに、「**自社情報**」ボタンをクリックして下さい。自社情報入力画面が表示されますので、入力願います。

入力した自社情報の画面が反映されます。

見積システム - [見積書-形式1]

御見積書

No.

2012年10月24日

シグマ建設 御中

下記の通り、御見積申し上げます。何卒ご用命の程、お願い申し上げます

工事名 テスト物件

工事場所

納期

取引条件

見積期限

合計金額 ¥0- (消費税は含まれておりません)

	品名	数量	単位	単価	金額
1	鉄骨本体工事				

合計 0 値引き額 合計金額 0

備考

見積入力 [F1] 空欄挿入 [F2] 削除 [F3] 印刷 [F4] 形式選択 [F5] 内訳表読込 [F6] 自社情報 [F7] マスター表示 [F8] 複写 [F9] 項目変更 閉じる [Esc]

マスター表示  
 イメージ貼り付け  
 発注先者自動読込

株式会社シグマテック  
代表者 〇〇  
〒340-0206 埼玉県久喜市西大輪4丁目10番地22  
TEL 0480-59-2281 FAX 0480-59-3563  
support@siguma.ne.jp

■大阪支社  
〒553-0001 大阪府大阪市福島区海老江1-3-24  
TEL 06-6453-8330 FAX 06-6453-8324

※見積データ入力を行いたい場合は、「見積入力」ボタンをクリックして下さい。

### 5.3 見積データ入力

入力方法については、内訳表と同じです。「4.1.1 名称・単位・適用の項目について」を確認して下さい。



※品名に、階層名を入力すると、「数量」と「金額」は、集計した値(NET/Gross)を自動的に表示しますので、最適な値を選択して下さい。手動での入力も可能です。

発注先 : 30 文字以内で入力

工事名 : 50 文字以内で入力

工事場所・納期・取引条件・見積期限 : 30 文字以内で入力

下図は、品名に「鉄骨本体工事」と入力した時、「鉄骨本体工事」の集計した値(NET/Gross)を自動的に表示しています。

見積システム - [見積書-形式1]

### 御見積書

No.  2012 年 10 月 24 日

シグマ建設 御中

下記の通り、御見積申し上げます。何卒ご用命の程、お願い申し上げます

株式会社シグマテック  
代表者 〇〇  
〒340-0206

■大阪支社  
〒553-0001

鉄骨本体工事

主材NET合計	68
副資材NET合計	
NET合計	68
主材Gross合計	68
副資材Gross合計	
Gross合計	68

工事名

工事場所

納期

取引条件

見積期限

合計金額  (消費税は含まれておりません)

No.	品名	数量	単位	単価	金額
1	鉄骨本体工事				

合計  値引き額  合計金額

備考

マスタ表示  
 イメージ貼り付け  
 発注先を自動読込

見積データ

No.	品名	数量	単位	単価	金額
1	鉄骨本体工事				

## 5.4 内訳表読み込み

「内訳表読み込み」ボタンをクリックすると、内訳総括表のように各階層名と階層の合計金額を自動的に表示します。

積算システム - [見積書-形式1]

御見積書

No.

2009年 8月 31日

建設  御中

下記の通り、御見積申し上げます。何卒ご用命の程、お願い申し上げます

工事名  Ox大学 キャンパス号館(仮称)新築工事

工事場所a

納期b

取引条件c

見積期限d

合計金額  ¥169,564- (消費税は含まれておりません)

	品名	数量	単位	単価	金額
1	鉄骨本体工事				48,232
2	現場建方工事費				46,332
3	付帯工事				75,000

合計  169,564  値引き額  合計金額  169,564

備考  全て屋間作業としての御見積です。

見積入力 [F1] 空欄挿入 [F2] 削除 [F3] 印刷 [F4] 形式選択 [F5] **内訳表読み込み [F6]** 自社情報 [F7] マスタ表示 [F8] 複写 [F9] 項目変更 閉じる [Esc]

マスター表示  
 イメージ貼り付け  
 発注先を自動読込

## 5.5 印刷

「印刷」ボタンをクリックして、印刷を行って下さい。

項目「7.6 見積書サンプル」を確認して下さい。

## 5.6 イメージ貼り付け

自社マークやロゴを表示させたい場合は、「イメージ貼り付け」にチェックを入れて下さい。

積算システム - [見積書-形式1]

**御 見 積 書**

No.  2009 年 8 月 31 日

建設  御中

下記の通り、御見積申し上げます。何卒ご用命の程、お願い申し上げます。

工事名  ○×大学 キャンパス号館(仮称) 新築工事

工事場所a

納 期b

取引条件c

見積期限d

合計金額  ¥169,564- (消費税は含まれておりません)

	品名	数量	単位	単価	金額
1	鉄骨本体工事				48,232
2	現場建方工事費				46,332
3	付帯工事				75,000

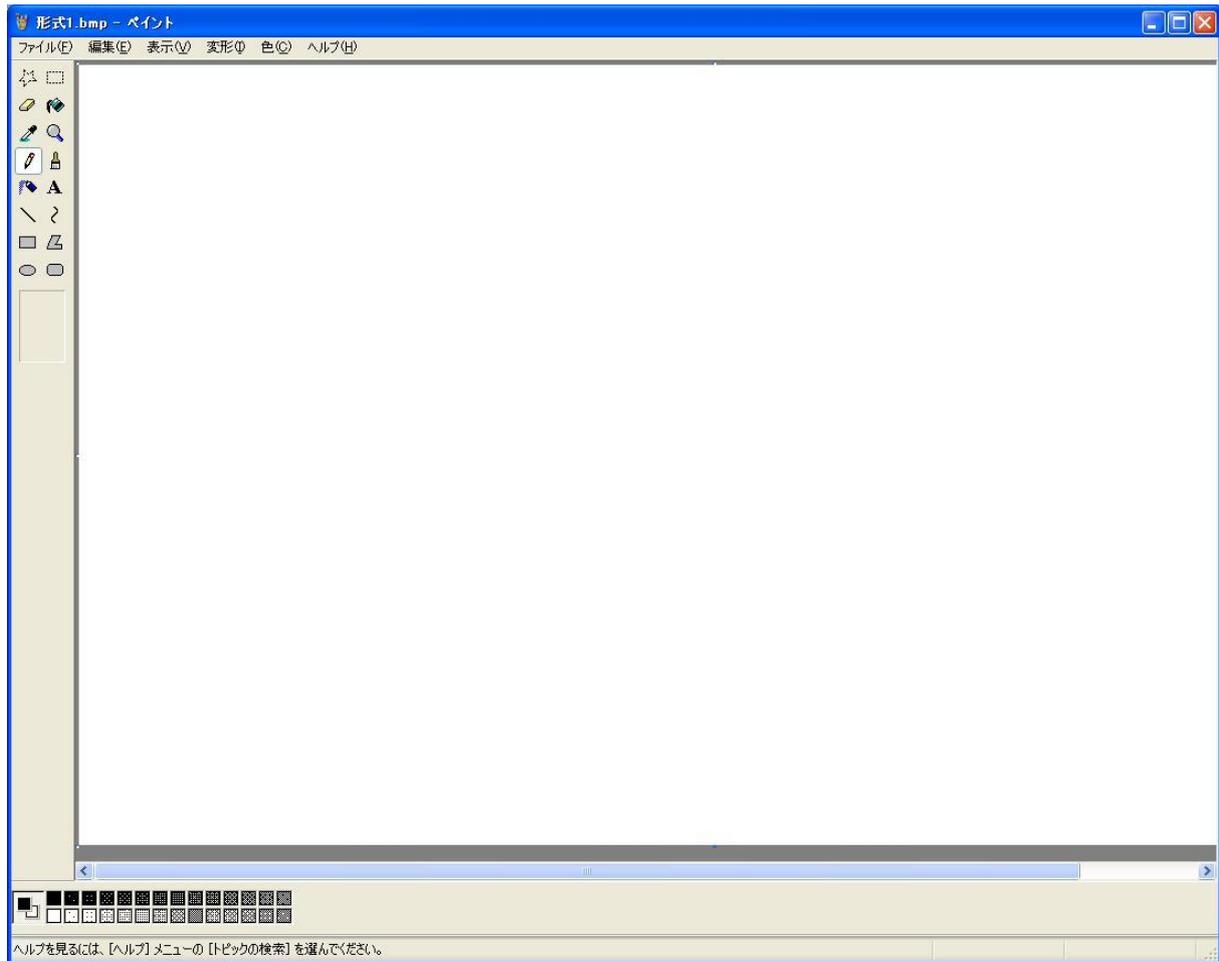
合計  169,564  値引き額  合計金額  169,564

備考  全て昼間作業としての御見積です。

見積入力 [F1] 空欄挿入 [F2] 削除 [F3] 印刷 [F4] 形式選択 [F5] 内訳表読込 [F6] 自社情報 [F7] マスタ表示 [F8] 複写 [F9] 項目変更 [F10] 閉じる [Esc]

マスタ表示  
 **イメージ貼り付け**  
 非表示を自動設定

※イメージファイルが表示されますので、「編集」ボタンをクリックすると、下図のように **Windows のペイント** が起動します。



※ペイントの編集を行った後、ファイルの保存をしてペイントを閉じて下さい。見積書のイメージ部分が変更されます。

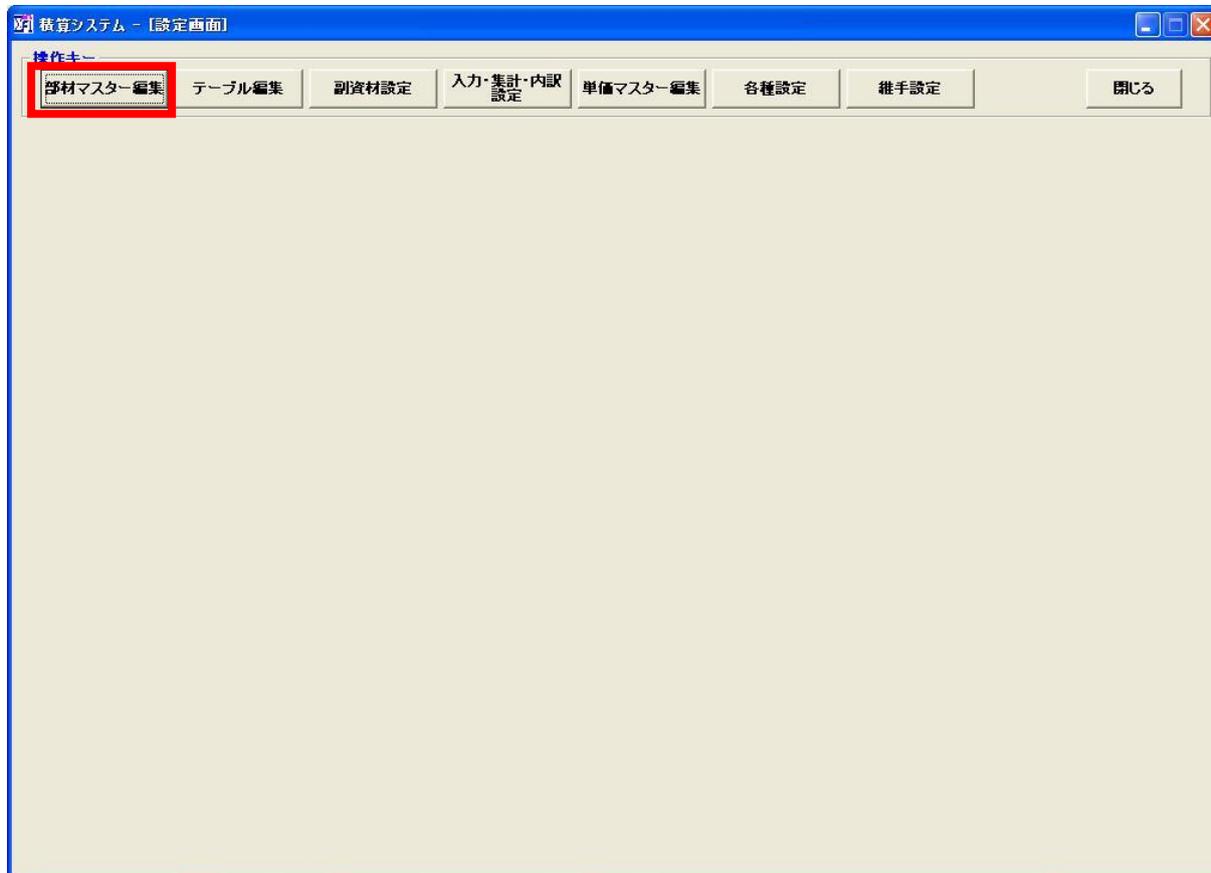
## 5.7 その他の見積形式

その他の見積形式も形式 1 と内容は変わりません。

## 6. 設定

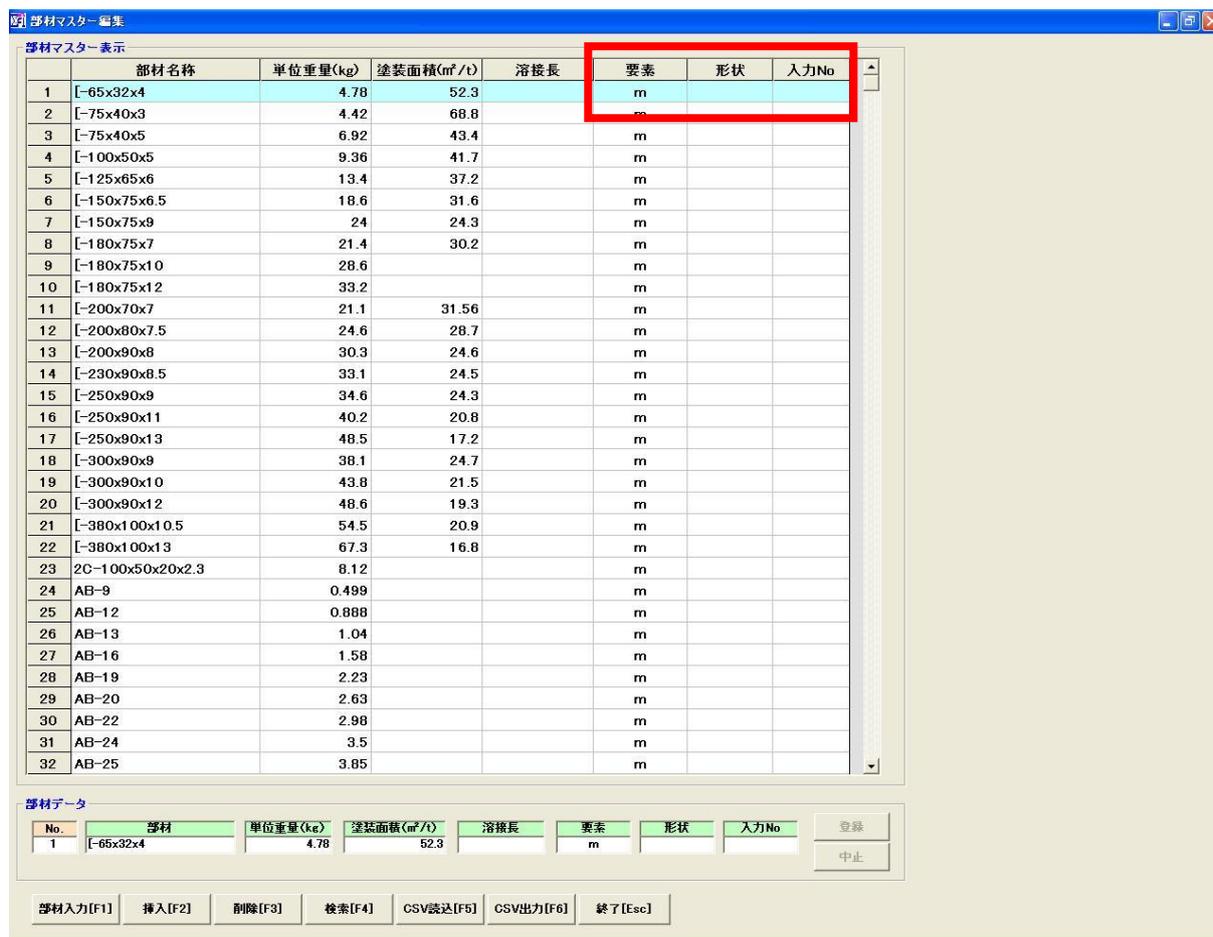
### 6.1 部材マスター

部材マスターを編集します。「部材マスター編集」ボタンをクリックして下さい。



## 6.1.1 部材マスター

下図が部材マスターの編集画面になります。



### 各ボタンについて

- 部材入力ボタン : 新規に部材を追加します。
- 挿入ボタン : 選択している行の間にデータを挿入する事ができます。
- 削除ボタン : 選択している行を削除できます。複数選択可能
- 検索ボタン : 材種から検索を行います
- CSV 読込ボタン : CSV ファイルを読み込みます。
- CSV 出力ボタン : 部材マスターのデータを CSV ファイルに書き込みします。

### 要素について

※要素は、以下の 4 つになります

- 1.「m<sup>3</sup>」 : PL など m<sup>3</sup>重量を計算します
- 2.「m」 : H 鋼材・角形鋼管など 長さ x 単位重量 の計算をします。
- 3.「個数 x 重量」 : ボルトなど 個数 x 単位重量 の計算をします。
- 4.「個数」 : 名称と個数のみで単位重量の計算はしません。

## 形状について

※形状は、以下の 5 つになります。形状は、6mm 換算の計算をする時に必要になります。

- 1.「H」
- 2.「BOX」
- 3.「パイプ」
- 4.「プレート」
- 5.「プレス」

部材マスターに登録されている部材全てに、形状が設定されていません。

**形状が設定されていない部材があったら、必要に応じて、形状を設定して下さい。**

## 6.1.2 入力 No について

入力 No を入力しておく、データ入力表の部材検索時に、入力 No を入れるだけで部材データを引っ張る事ができます。以下に例を示します。

	部品名称	単位重量(kg)	塗装面積(m <sup>2</sup> /t)	溶接長	要素	形状	入力No
1	[-65x32x4	4.78	52.3		m		1
2	[-75x40x3	4.42	68.8		m		2
3	[-75x40x5	6.92	43.4		m		3
4	[-100x50x5	9.36	41.7		m		4
5	[-125x65x6	13.4	37.2		m		5
6	[-150x75x6.5	18.6	31.6		m		6
7	[-150x75x9	24	24.3		m		7
8	[-180x75x7	21.4	30.2		m		8
9	[-180x75x10	28.6			m		9
10	[-180x75x12	33.2			m		10
11	[-200x70x7	21.1	31.56		m		
12	[-200x80x7.5	24.6	28.7		m		
13	[-200x90x8	30.3	24.6		m		
14	[-230x90x8.5	33.1	24.5		m		
15	[-250x90x9	34.6	24.3		m		
16	[-250x90x11	40.2	20.8		m		
17	[-250x90x13	48.5	17.2		m		
18	[-300x90x9	38.1	24.7		m		
19	[-300x90x10	43.8	21.5		m		
20	[-300x90x12	48.6	19.3		m		
21	[-380x100x10.5	54.5	20.9		m		
22	[-380x100x13	67.3	16.8		m		
23	2C-100x50x20x2.3	8.12			m		11
24	AB-9	0.499			m		12
25	AB-12	0.888			m		13
26	AB-13	1.04			m		14
27	AB-16	1.58			m		15
28	AB-19	2.23			m		16
29	AB-20	2.63			m		17
30	AB-22	2.98			m		18
31	AB-24	3.5			m		19
32	AB-25	3.85			m		20

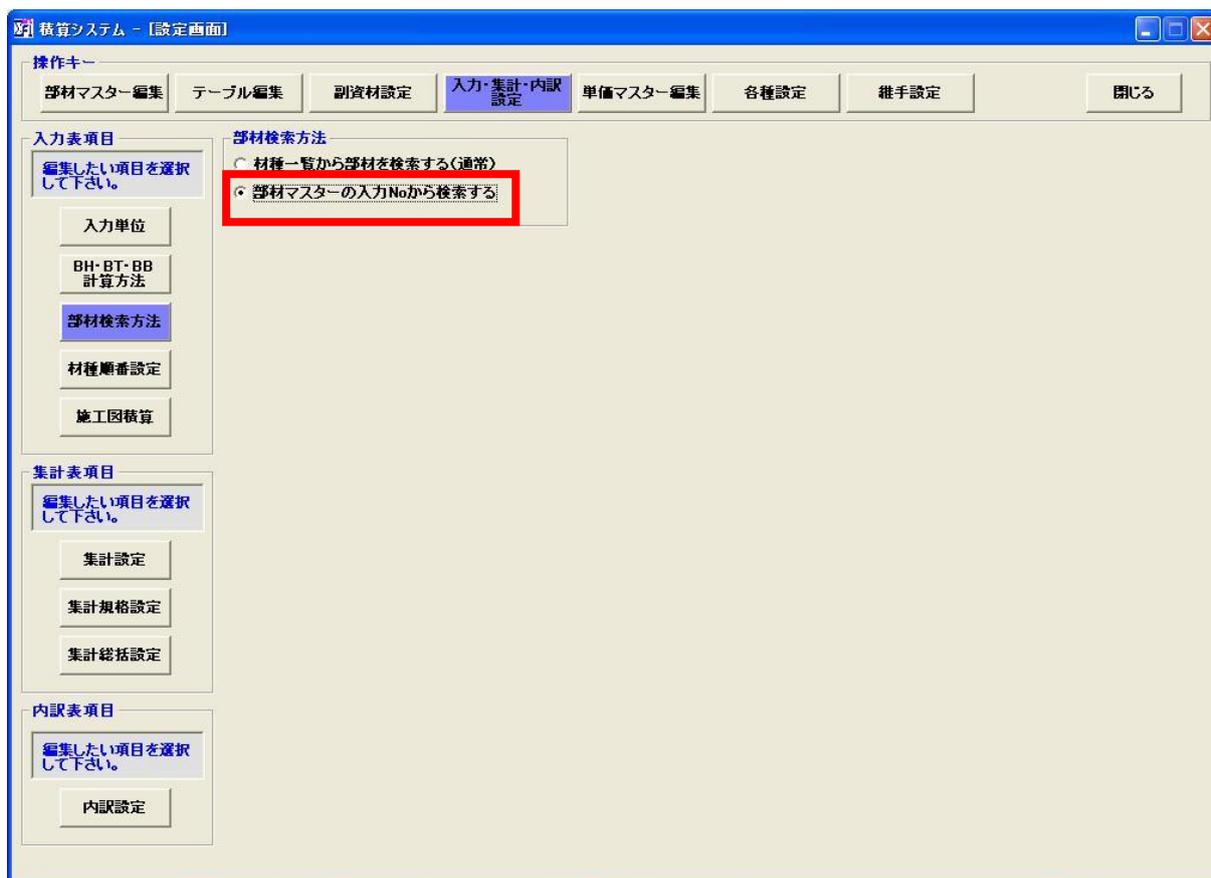
部品データ

No.	部材	単位重量(kg)	塗装面積(m <sup>2</sup> /t)	溶接長	要素	形状	入力No	登録
1	[-65x32x4	4.78	52.3		m		1	中止

部材入力[F1] 挿入[F2] 削除[F3] 検索[F4] CSV読込[F5] CSV出力[F6] 終了[Esc]

※始めに、各部材の「入力 No」を登録して下さい。

次に、設定の変更を行います。以下の画面で、設定変更を行って下さい。



※「**部材マスターの入力 No から検索する**」にチェックを入れて下さい。

次に、データ入力表を開いてください。

部材マスターの「入力No」を入力して下さい。

データ入力

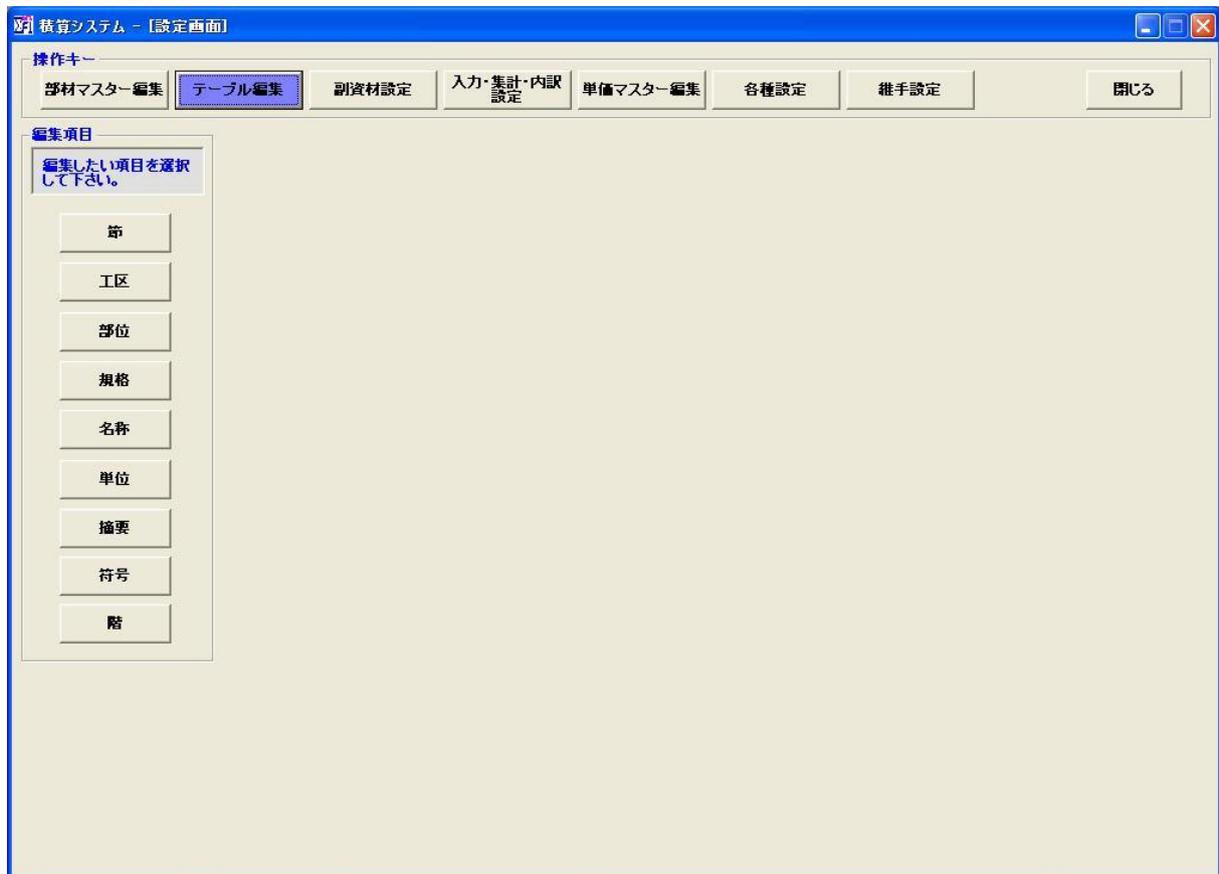
No.	部	階	部位	符号	規格	材種	部材	単位重量(Kg)	幅(mm)	長さ(mm)
1					SS400					

溶接長入力     部入力  
 階入力         部位入力

※材種の項目にフォーカスが来ると、先ほど部材マスターで「入力 No」を登録した部材のみ表示されます。登録されている「入力 No」を入力すると、データ取得できます。

## 6.2 テーブル編集について

各マスターを編集できます。編集したいマスターのボタンをクリックして下さい。



### 6.3 副資材編集について

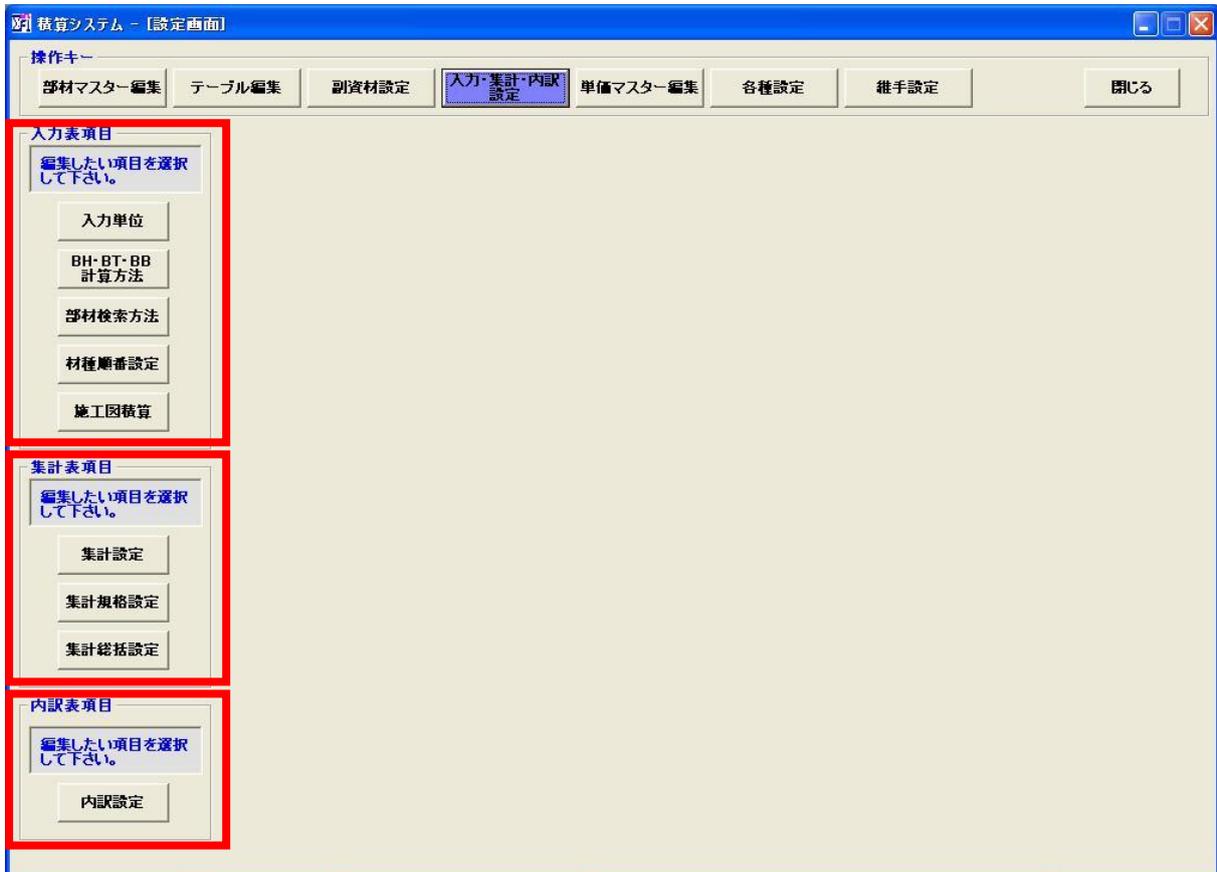
設定画面の「副資材設定」ボタンをクリックすると、**材種を主材と副資材に分ける事ができます。**



※材種を選択(複数選択可能)したら、「>>」ボタンや「<<」ボタンを使って、材種を主材・副資材に振り分けて下さい。

## 6.4 入力・集計・内訳設定について

データ入力表や集計表に関する設定は、以下の画面で行います。



※上の赤枠部分は、データ入力表に関する設定群です。

下の赤枠部分は、集計表に関する設定群です。

### 入力項目群について

※入力単位は、**入力表の幅/長さを mm で表すか m で表すかの設定**です。

※BH・BT・BB 計算方法は、**小数点 3 桁まで計算するか有効桁数 3 桁まで計算するか**の設定です。

※部材検索方法は、以下の 2 つがあります。

- ・材種一覧から部材を検索する(通常)
- ・部材マスターの入力 No から検索する(「6.1.2 入力 No について」を参照)

※材種順番設定は、**材種の表示順番を変更**する事ができます。

※施工図積算は、幅/長さの小数点何位まで表示するかの設定になります。

## 集計項目群について

※集計条件は、以下の画面で各種条件を確認して下さい。

※集計規格設定は、**規格の集計順位を変更**する事ができます。

※集計総括設定は、**部材の集計順位を変更**する事ができます。

## 内訳項目群について

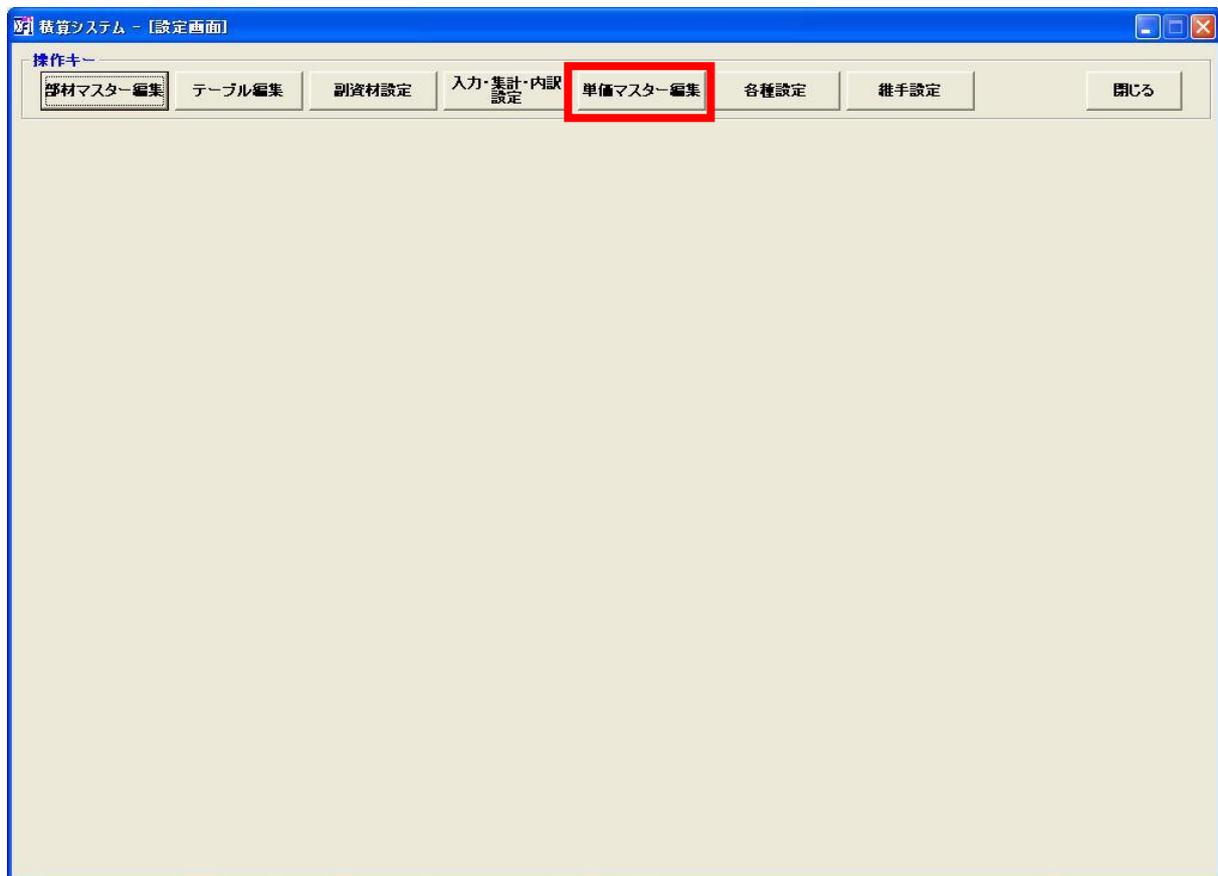
※内訳設定について

「名称欄にスペースを入れて表示する」は、階層名以外の名称をワンスペース空けてから表示させます。

「名称欄にスペースを入れない」は、階層名以外の名称でもワンスペース空けないで表示します。

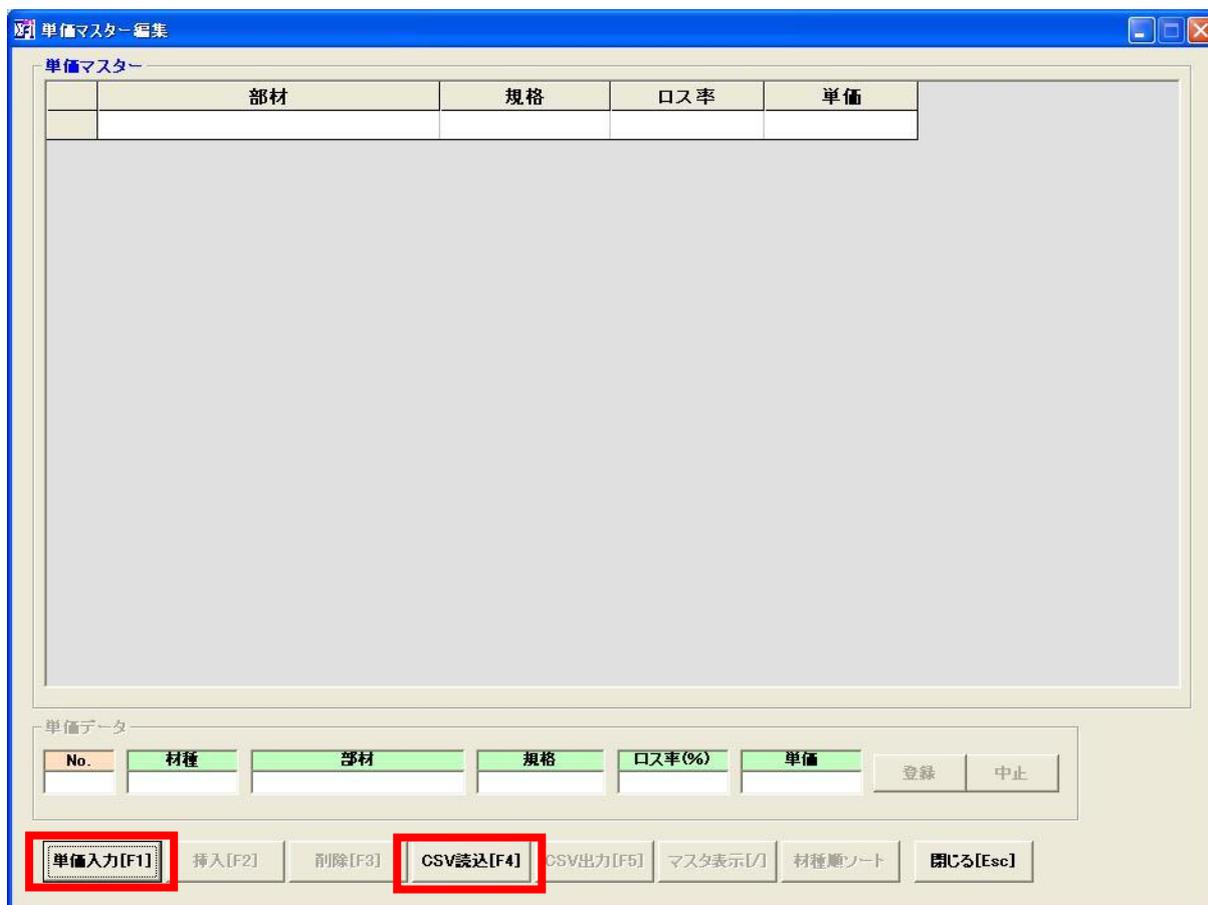
## 6.5 単価マスター編集について

「単価マスター編集」ボタンをクリックして下さい。「5.2 集計表作成」で説明した通り、事前に単価マスターを作成しておけば、集計表のデータに単価を反映させる事ができます。



### 6.5.1 単価マスター入力について

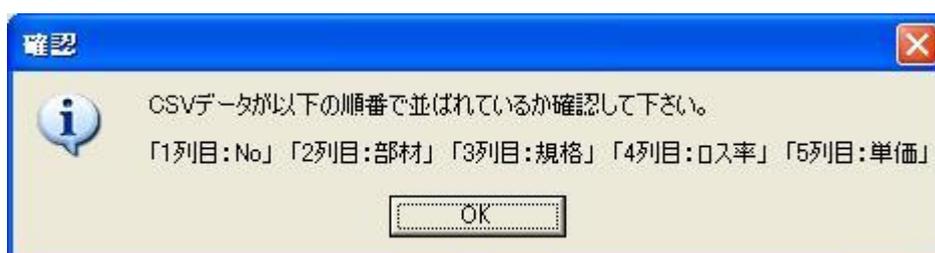
単価入力を行うか、CSV 読み込みを行うか選択して下さい。



※単価入力は、**手動で単価入力**する形となります。

※CSV 読み込みは、**CSV ファイルがある場合に、データを一度に読み込み**する事ができます。

**注意:** CSV 読み込みする場合は、CSV ファイルが以下の通りになっているか確認して下さい。



## 6.5.2 手動入力について

部材/規格については、データ入力表と同じになります。「2.2.3 手動入力時の場合」の部材/規格を参照して下さい。



※**ロス率と単価は、手入力して下さい。**

### 各ボタンについて

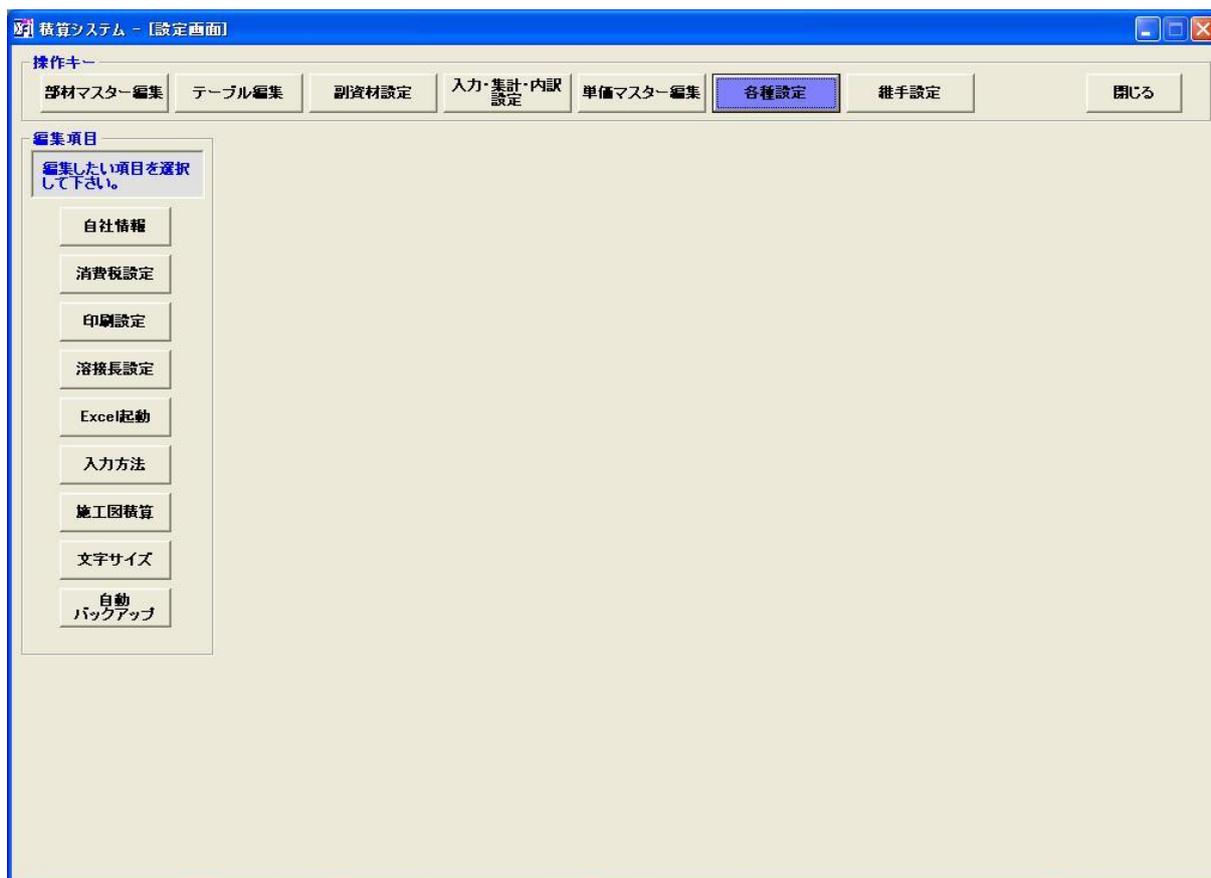
挿入ボタン : 選択している行の間にデータを挿入する事ができます。

削除ボタン : 選択している行を削除できます。複数選択可能

CSV 読込ボタン : 項目 8.5.1 において、説明済み

CSV 出力ボタン : 現在、入力されているデータを CSV ファイルに書込みします。

## 6.6 各種情報について



※**自社情報**は、会社名や住所・電話番号の設定を行います。

※**消費税設定**は、消費税込み/消費税抜きの設定や、税率を設定します。

※**溶接長設定**は、溶接を必要とする際に設定を行って下さい。

※**文字サイズ**は、全体的文字の大きさを大きく表示します。

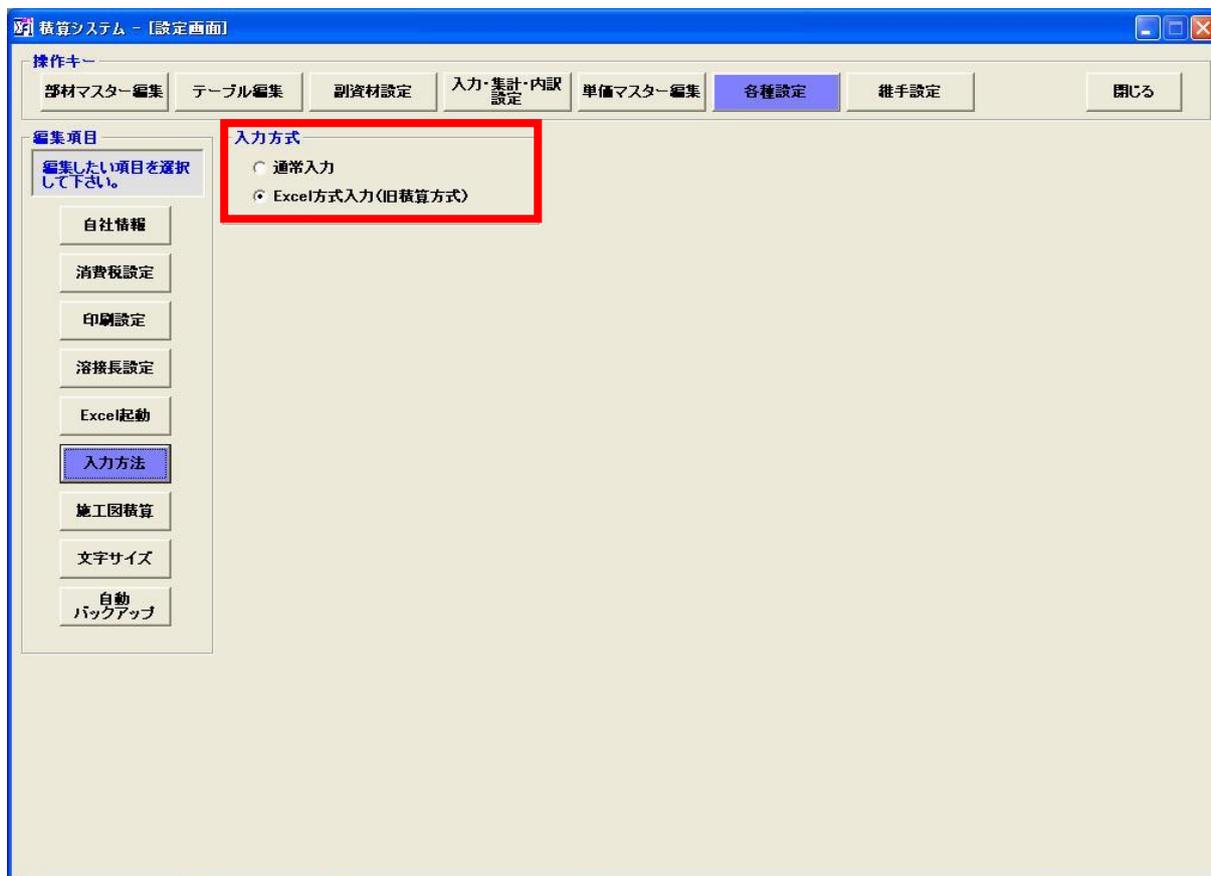
※印刷設定の項目については、以下になります。



- ・工事番号を印刷するにチェックを入れると、**入力表/集計表/内訳表**の印刷時に、工事番号を表示させます。
- ・工事区分を印刷するにチェックを入れると、**入力表/集計表/内訳表**の印刷時に、工事番号を表示させます。
- ・見積金額の後ろに“-”を印刷するにチェックを入れると、見積書の印刷時に金額欄に必ず“-”が入ります。(例：¥1,000,000 - )
- ・自社名出力について  
出力する : **入力表/集計表/内訳表**の印刷時に登録されている自社名を表示します。  
出力しない : **入力表/集計表/内訳表**の印刷時に登録されている自社名を表示しません。

## 6.7 入力方式の変更について

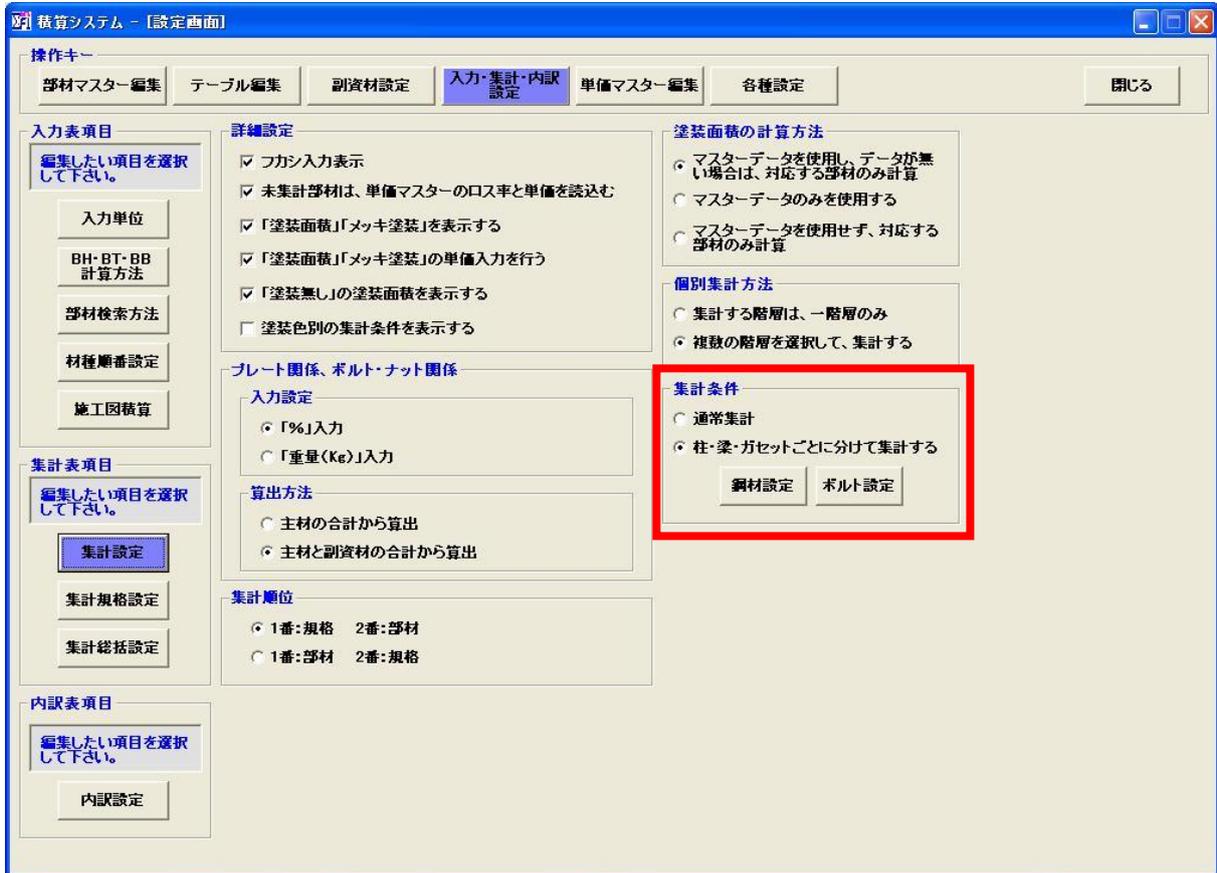
旧積算のように、Excel 入力方式で打ち込みを行いたい時は、以下のように設定変更して下さい。



※「各種設定」→「入力方法」で、入力方式が表示されます。

## 6.8 集計方式の変更について

柱・梁・ガセットごとに重量を表示する集計方法が付け加えられました。以下の設定を変更すると集計画面が変わります。



※「入力・集計・内訳設定」→「集計設定」で、集計条件が表示されます。

柱・梁・ガセットごとに分けて集計するを選択すると、以下のような集計画面が表示されます。

積算システム - [集計表]

工事物件設定 | 入力表 | **集計表** | 内訳表 | 見積書 | 設定 | バージョン情報 | 終了

工事名 テスト物件  
発注先 シグマ建設 | 階層 全工区

鋼材明細書/鉄骨集計表/製品重量表

積算重量表(全工区集計)

積算重量表	NET合計	Gross合計	合計金額	6mm換算溶接長		
	1,775	1,869	79,320	158,409 m		
	塗装面積	赤塗装	グレー塗装	黄塗装	白塗装	メッキ塗装
	30.277 m <sup>2</sup>					176.9 kg

UT箇所数 =  $\frac{6\text{mm換算溶接長}}{300\text{mm}}$   
529 箇所 =  $\frac{158409\text{ mm}}{300\text{mm}}$

明細書 | 集計表 | ボルト

鋼材明細書 | 鉄骨集計表 | ボルト集計表

製品重量表

柱 製品重量表	NET合計	Gross合計	スプライス 重量表	NET合計	Gross合計	ベース 重量表	NET合計	Gross合計
	208	222		38	40		26	28
間柱 製品重量表	NET合計	Gross合計	ガゼット 重量表	NET合計	Gross合計	ベースリブ 重量表	NET合計	Gross合計
大梁 製品重量表	NET合計	Gross合計	リブガゼット 重量表	NET合計	Gross合計	ハンチ 重量表	NET合計	Gross合計
	218	230						
小梁 製品重量表	NET合計	Gross合計	ダイヤフラム 重量表	NET合計	Gross合計	スリーブ 重量表	NET合計	NET合計
	33	37						

工区選択 | 塗装色変更

※各製品ごとの、重量が表示されます。

各製品ごとに、重量表を CSV 出力する事が可能です。

※積算重量表は、従来の集計方法で集計された重量が表示されます。

※工区が設定されている時は、工区ごとに集計する事も可能です。

## 7. 印刷サンプル

### 7.1 入力表サンプル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	
1				<b>積 算 入 力 表</b>									
2	No : 14												
3	工事名 : ○×工事											1 ページ	
4	御見積先 : シグマ建設											作成日 : 2010/02/15	
5	工事区分 : 鉄骨本体工事											株式会社吉羽	
6	No	符号	規格	部 材	幅(mm)	長さ(mm)	員数	台数	単重	総重量(kg)	溶接長	6mm換算(M)	
7	1	-----		1C1A				1					
8	2	C721	SN490C	PL-28	550	550	1	1	219.8	66.5			
9	3	C721	SN490C	PL-28	550	550	1	1	219.8	66.5			
10	4	C311	SN490B	H-700x300x13x24		750	1	1	182	136.5		16.14	
11	5	C311	SN490B	H-700x300x13x24		750	1	1	182	136.5		16.14	
12	6	CJI-B	SS400	PL-12	130	200	1	1	94.2	2.5		0.78	
13	7	CJI-B	SS400	PL-12	130	200	1	1	94.2	2.5		0.78	
14	8	CJI-B	SS400	PL-12	130	200	1	1	94.2	2.5		0.78	
15	9	CJI-B	SS400	PL-12	130	200	1	1	94.2	2.5		0.78	
16	10	アンカーボルト	ABR490	ABOLT-20		1,187.1	8	1	2.47	23.5			
17				小 計				1		439.5			
18													
19	11	-----		2C1A				1					
20	12	CJI-B2	SS400	PL-12	130	200	1	1	94.2	2.5		0.78	
21	13	CJI-A	SS400	S.PL-9	80	407	1	1	70.65	2.3			
22	14	CJI-A	SS400	S.PL-9	80	407	1	1	70.65	2.3			
23	15	CJI-B2	SS400	PL-12	130	200	1	1	94.2	2.5		0.78	
24	16	CJI-A	SS400	S.PL-9	80	407	1	1	70.65	2.3			
25	17	CJI-A	SS400	S.PL-9	80	407	1	1	70.65	2.3			
26	18	CJI-B2	SS400	PL-12	130	200	1	1	94.2	2.5		0.78	
27	19	CJI-A	SS400	S.PL-9	80	407	1	1	70.65	2.3			
28	20	CJI-A	SS400	S.PL-9	80	407	1	1	70.65	2.3			

### 7.2 製品一覧表サンプル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
1						<b>製 品 一 覧 表</b>								
2	No : 14													
3	工事名 : ○×工事													1 ページ
4	御見積先 : シグマ建設													作成日 : 2010/02/15
5	工事区分 : 鉄骨本体工事													株式会社吉羽
6	No	製品名		台数	総重量(kg)		塗装面積(m <sup>2</sup> )		6mm換算(M)					
7	1	1C1A		1	439.5		5.22		35.4					
8	2	2C1A		1	645.1		9.464		54.746					
9	3	1C1B		1	1,410.3		22.25		217.207					
10	4	2C1B		1	2,088.4		34.067		256.366					
11	5	1C2A		1	1,369.3		18.183		141.694					
12	6	2C2A		1	1,999.4		28.103		217.326					
13	7	1C2B		1	1,086.9		11.876		76.948					
14	8	2C2B		1	1,688		21.962		131.442					
15	9	1C3A		1	1,068.5		17.34		125.549					
16	10	2C3A		1	1,493.8		25.378		178.626					
17	11	1C3B		1	701.8		11.109		84.989					
18	12	2C3B		1	1,198.6		20.379		121.253					
19	13	2G1-1		1	1,248.5		16.191		2.573					
20	14	2G1-2		1	1,248.5		16.191		2.573					
21	15	2G1-3		1	1,242.3		16.015							
22	16	2G1-4		1	1,039.2		13.282		2.573					
23	17	2G1-5		1	1,163.7		15.102		5.146					
24	18	2G1A-1		1	785.6		12.252		2.285					
25	19	2G1A-2		1	908.4		14.235		4.57					
26	20	3G3-1		3	2,729.7		40.784		51.792					
27	21	3G3-2		2	1,490.7		21.971		39.832					
28	22	3G3-3		2	1,677.1		24.929		46.592					

### 7.3 集計表サンプル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	<b>集 計 表</b>											
2	No. : 12											
3	工事名 : テスト物件											
4	御見積先 : シグマ建設											
5	工事区分 : 鉄骨本体工事, デッキ工事											
6	規格	部材			㎡, m, 本, 個	数量	NET(kg)	ロス(%)	Gross(kg)	単価	金額	
7	SS400	FB-9x25			16.548 m	60	30	5	32	20	640	
8	SS400	H-150x75x5x7			1.641 m	3	23	5	25	30	750	
9	SS400	H-298x149x5.5x8			8.72 m	4	280	5	294	35	10,290	
10	SS400	□-300x300x6			8.793 m	6	481	5	506	45	22,770	
11	SS400	PL-20			0.8 ㎡	5	126	5	133	50	6,650	
12	SS400	S.PL-12			0.782 ㎡	16	75	5	79	55	4,345	
13	主材合計							1,015		1,069	45,445	
14												
15	SS400	ABOLT-16			12 m	20	19	5	20	10	200	
16	S10T	BOLT-20x55			40 本		15	5	16	20	320	
17	S10T	HTB-M20x50			176 本		64	5	68	30	2,040	
18		プレート関係			8 (%)		90	5	95	40	3,800	
19		ボルト・ナット関係			3 (%)		34	5	36	50	1,800	
20	副資材合計							222		235	8,160	
21												
22	合計						114	1,237		1,304	53,605	
23												
24		塗装面積			20.087 ㎡		21		21	30	630	
25		メッキ塗装			176.9 kg		177		177	20	3,540	
26		6mm換算溶接長			89.297 m							
27												
28	合計金額										57,775	

### 7.4 明細表サンプル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	<b>明 細 表</b>											
2	No. : 12											
3	工事名 : テスト物件											
4	御見積先 : シグマ建設											
5	工事区分 : 鉄骨本体工事, デッキ工事											
6	規格	部材				数量			単価	金額		
7	SS400	FB-9x25				32 kg			20	640		
8	SS400	H-150x75x5x7				25 kg			30	750		
9	SS400	H-298x149x5.5x8				294 kg			35	10,290		
10	SS400	□-300x300x6				506 kg			45	22,770		
11	SS400	PL-20				133 kg			50	6,650		
12	SS400	S.PL-12				79 kg			55	4,345		
13	主材合計						1,069 kg			45,445		
14												
15	SS400	ABOLT-16				20 kg			10	200		
16	S10T	BOLT-20x55				16 kg			20	320		
17	S10T	HTB-M20x50				68 kg			30	2,040		
18		プレート関係				95 kg			40	3,800		
19		ボルト・ナット関係				36 kg			50	1,800		
20	副資材合計						235 kg			8,160		
21												
22	合計						1,304 kg			53,605		
23												
24		塗装面積				20.087 ㎡			30	630		
25		メッキ塗装				176.9 kg			20	3,540		
26		6mm換算溶接長				89.297 m						
27												
28	合計金額									57,775		

### 7.5.1 内訳総括表サンプル

A	B	C	D	E	F	
1	<b>内 訳 総 括 表</b>					
2	No : 12					1 ページ
3	工事名 : テスト物件					作成日 : 2009/09/15
4	御見積先 : シグマ建設					株式会社吉羽
5						
6	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
7	鉄骨本体工事				2,702,279	
8						
9	現場建方工事費				220,572	
10						
11	付帯工事				525,000	
12						
13	胴縁工事				1,504,770	
14						
15	合計				4,952,621	
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						

### 7.5.2 内訳表サンプル

A	B	C	D	E	F	
31	<b>内 訳 表</b>					
32	No : 12					1 ページ
33	工事名 : テスト物件					作成日 : 2009/09/15
34	御見積先 : シグマ建設					株式会社吉羽
35						
36	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
37	鉄骨本体工事					
38	鋼材費	12,634	kg	124	1,566,616	
39	副資材費	12,634	kg	8	101,072	
40	工作図費	12,634	kg	12	151,608	
41	工場原寸費	11,177	kg	45	502,965	
42	工場溶接費	11,177	kg	25	279,425	
43	工場塗装費	11,177	kg	9	100,593	
44						
45	現場建方工事費					
46	現場建方施工費	12,254	kg	10	122,540	
47	現場重機費	12,254	kg	8	98,032	
48						
49	付帯工事					
50	現場接合部塗装		一式		75,000	
51	根太工事		一式		450,000	
52						
53	胴縁工事					
54	胴縁工事	4,122	kg	285	1,174,770	
55	運搬・取付工事		一式		330,000	
56						
57	合計				4,952,621	
58						

### 7.6.1 見積書形式 1 サンプル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1					<b>御 見 積 書</b>				No.1
2									2009年9月15日
3									
4									
5			<b>シグマ建設</b>						
6			下記の通り、御見積申し上げます。何卒ご用命の程、お願い申し上げます。						
7									
8									
9									
10			工事名	テスト物件					
11									
12									
13									
14			工事場所						
15									
16			納 期						
17									
18			取引条件	従来通り					
19									
20			見積期限	10日間					
21									
22			合計金額	¥4,952,621-					
23				(消費税は含まれておりません)					
24									
25									
26			No	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	
27			1	鉄骨本体工事				2,702,279	
28			2	現場建方工事費				220,572	
29			3	付帯工事				525,000	
30			4	胴縁工事				1,504,770	
31									
32									
33									
34				合計				4,952,621	

### 7.6.2 見積書形式 2 サンプル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1					<b>御 見 積 書</b>					
2										
3										
4										
5										No.
6			<b>シグマ建設</b>							2009年9月15日
7										
8										
9			工事名	テスト物件						
10										
11										
12										
13			合計金額	¥4,952,621-						
14										
15			工事場所							
16										
17			納 期							
18										
19			取引条件	従来通り						
20										
21			見積期限	10日間						
22										
23			[備考]	見積金額には消費税が含まれておりません。 別途消費税額を申し受けます。						
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										

